

市政アンケート調査結果及び 意見交換会結果

令和4年12月17日
鈴鹿市

1. 調査の目的

この調査は、市民の市政に対する満足度や市民ニーズなどを把握することにより、次期総合計画の策定において、市民の声を指標の設定や今後の具体的な取組みの基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の設計

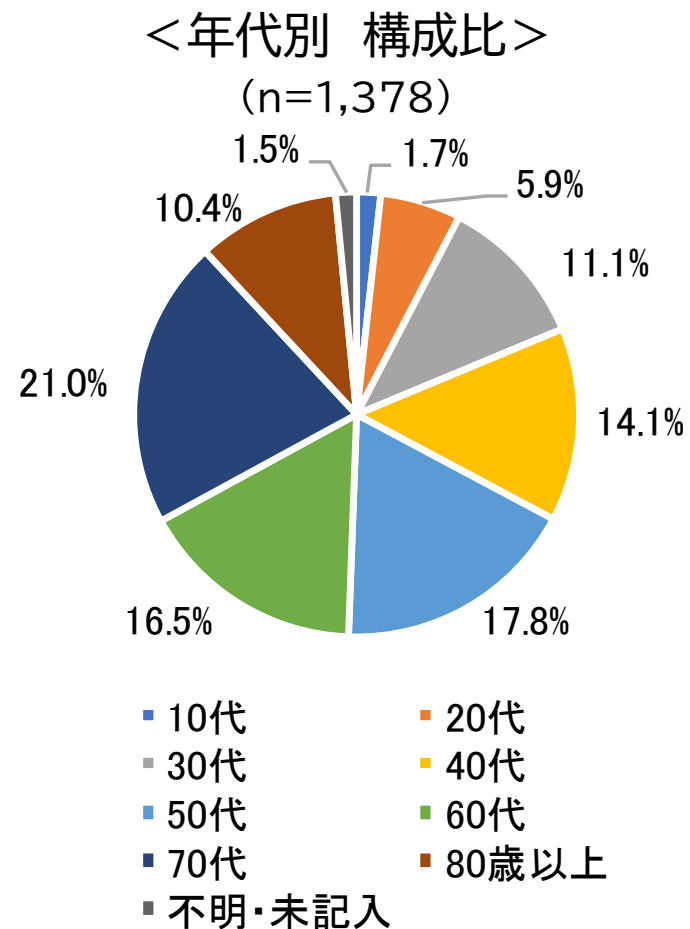
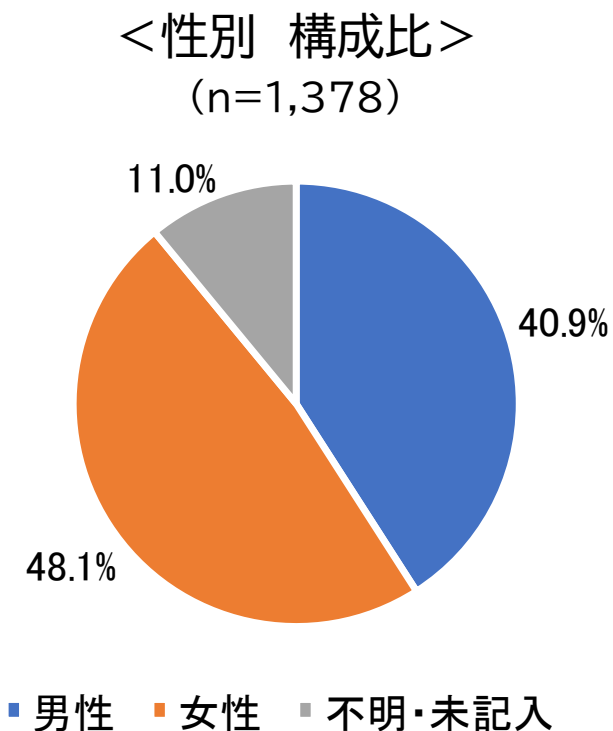
- | | |
|---------|----------------------------------|
| (1)調査対象 | 市内在住の18歳以上の市民 |
| (2)対象者数 | 4,000人 |
| (3)抽出方法 | 多段階無作為抽出(令和4年5月15日現在の住民基本台帳から抽出) |
| (4)調査方法 | 郵送により調査票を配布し、郵送又はWEBで回答 |
| (5)調査時期 | 令和4年6月8日から7月8日まで |

3. 回収結果

- | | |
|-------------|--------------------------------------|
| (1)有効回答数(率) | 1,378人(34.5%) ※郵送回答1,165人, WEB回答213人 |
| (2)無効調査数(率) | 2,622人(65.5%) |

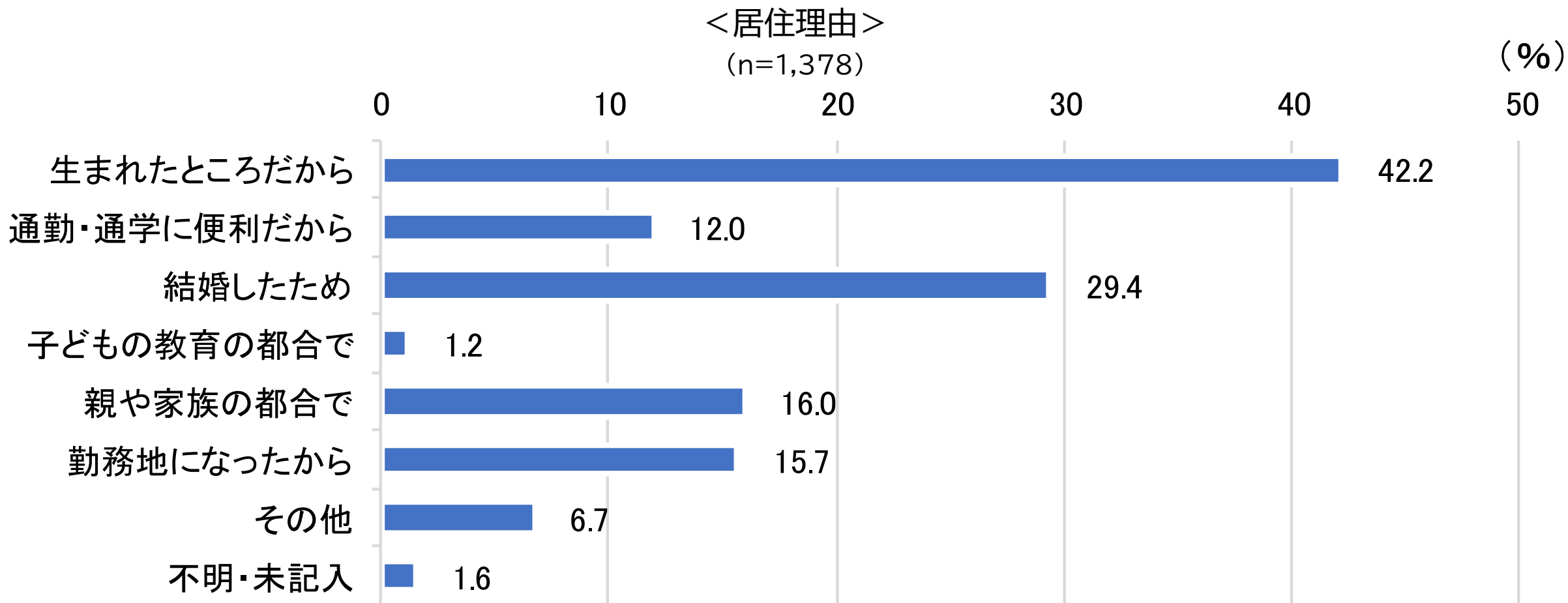
調査結果 回答者属性(性別・年代別)

- 回答者の属性について、性別構成比は男性が40.9%, 女性が48.1%, 不明・未記入が11.0%となっている。
- 年代別構成比は70代が21.0%と最も割合が高く、次いで50代が17.8%となっている。



調査結果 【問1】居住理由

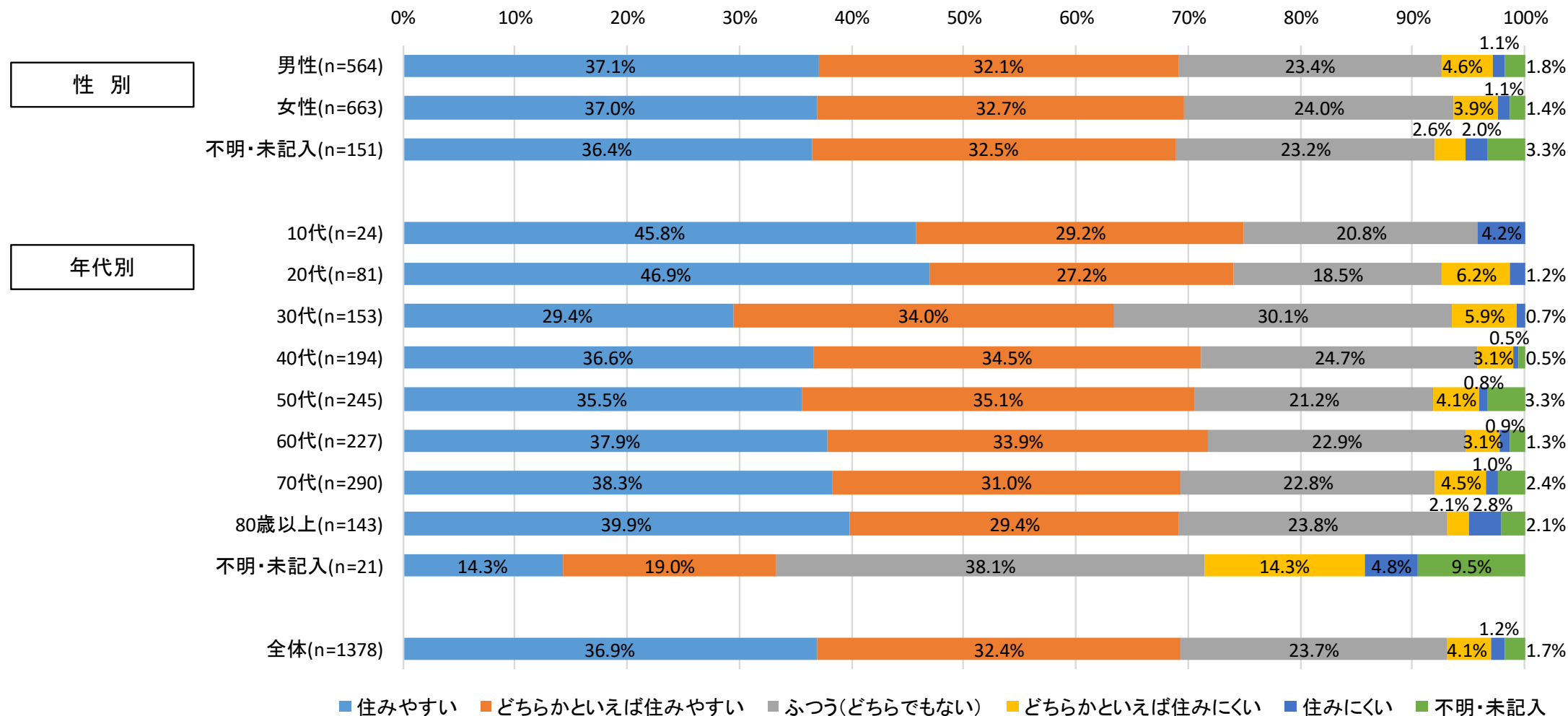
- 「生まれたところだから」(42.2%)が4割超と最も高く、次いで「結婚したため」(29.4%),「親や家族の都合で」(16.0%),「勤務地になったから」(15.7%)となっている。



調査結果 【問2】住みやすさ

- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合(69.3%)が約7割を占める。年代別では10代と20代の割合が高くなっている。

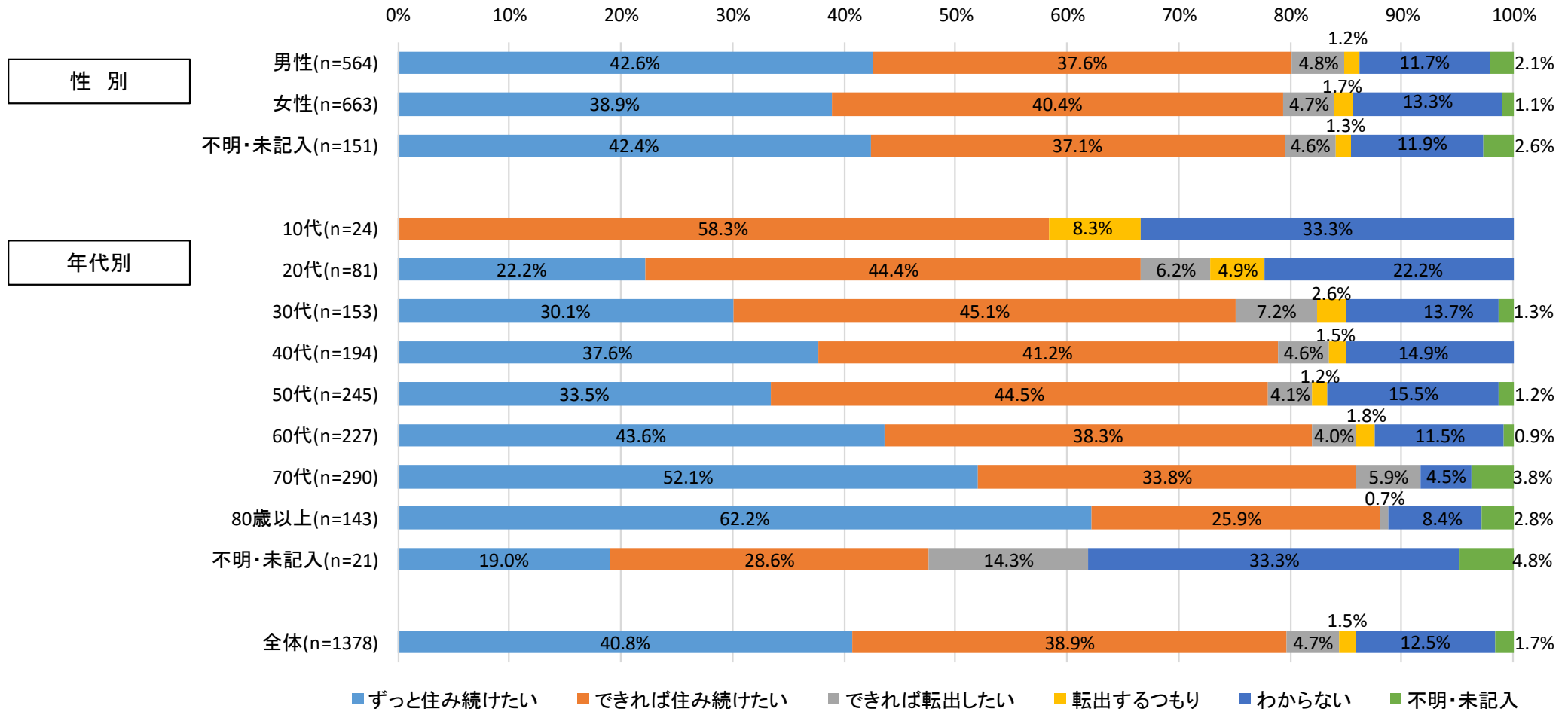
<住みやすさ 構成比>



調査結果 【問3】定住意向

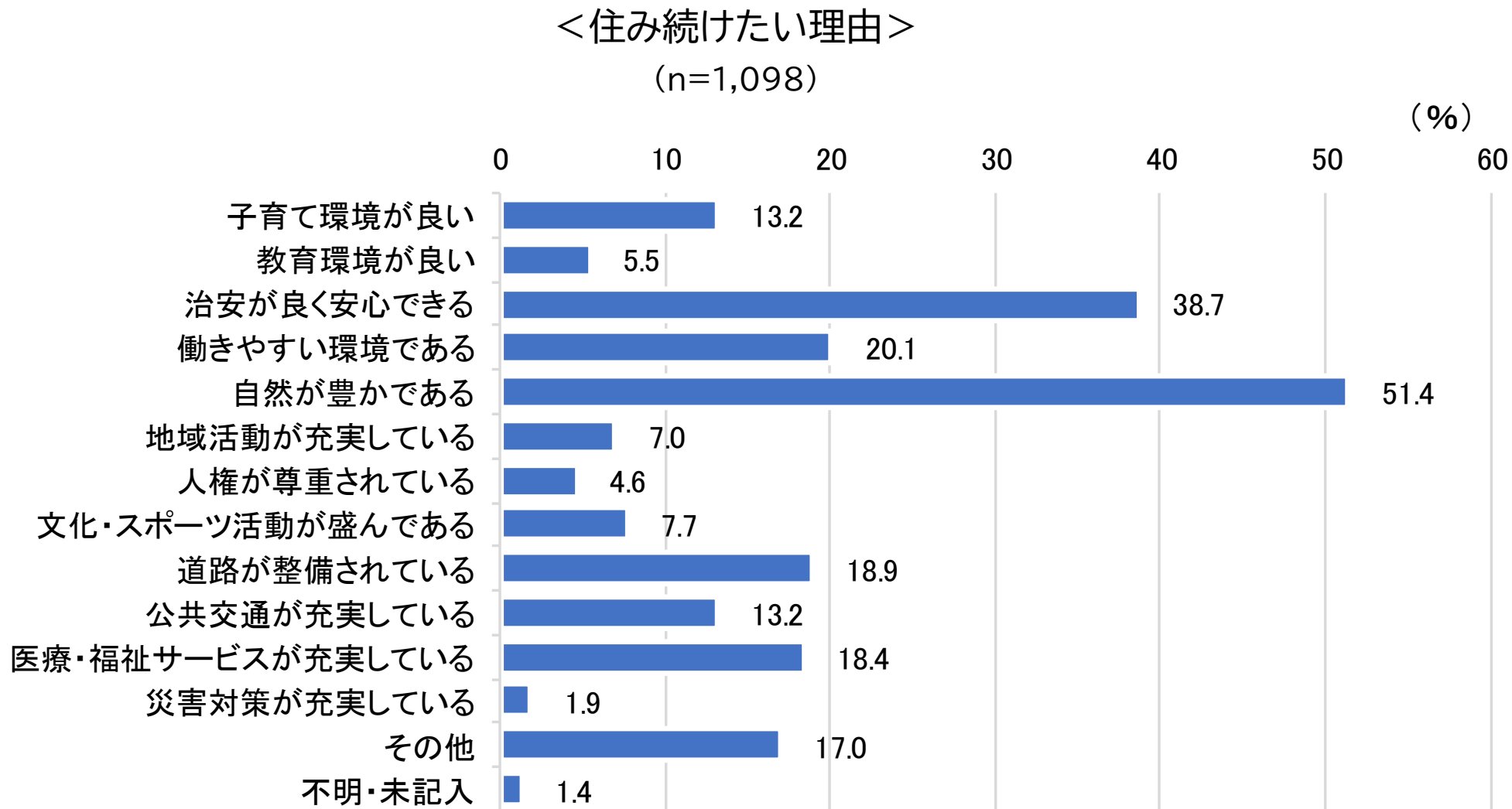
- 「ずっと住みたい」と「できれば住みたい」を合わせた割合(79.7%)が約8割を占める。年代別では高年齢ほど割合が高くなっている。

<定住意向 構成比>



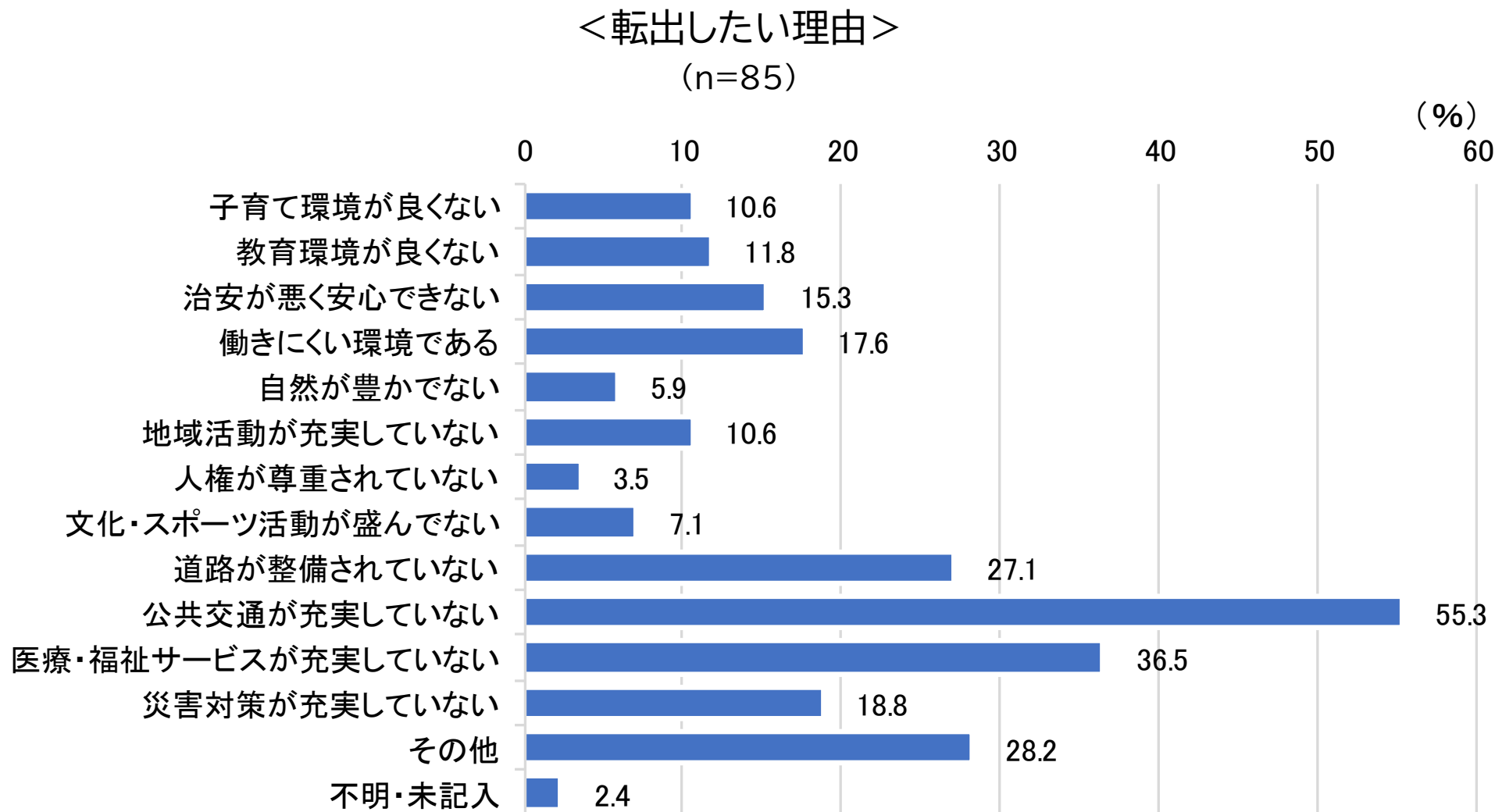
調査結果 【問3－1】住み続けたい理由

- 問3で「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」と回答した人の、住み続けたい理由は、「自然が豊かである」(51.4%)が最も高く、次いで「治安が良く安心できる」(38.7%),「働きやすい環境である」(20.1%)となっている。



調査結果 【問3－2】転出したい理由

- 問3で「できれば転出したい」と「転出するつもり」と回答した人の、転出したい理由は、「公共交通が充実していない」(55.3%)が最も高く、次いで「医療・福祉サービスが充実していない」(36.5%),「道路が整備されていない」(27.1%)となっている。



調査結果 【問4】市政に対する満足度 項目一覧

● 下記の11分野・40項目について、「満足度」及び「重要と思う取組であるか」を調査した。

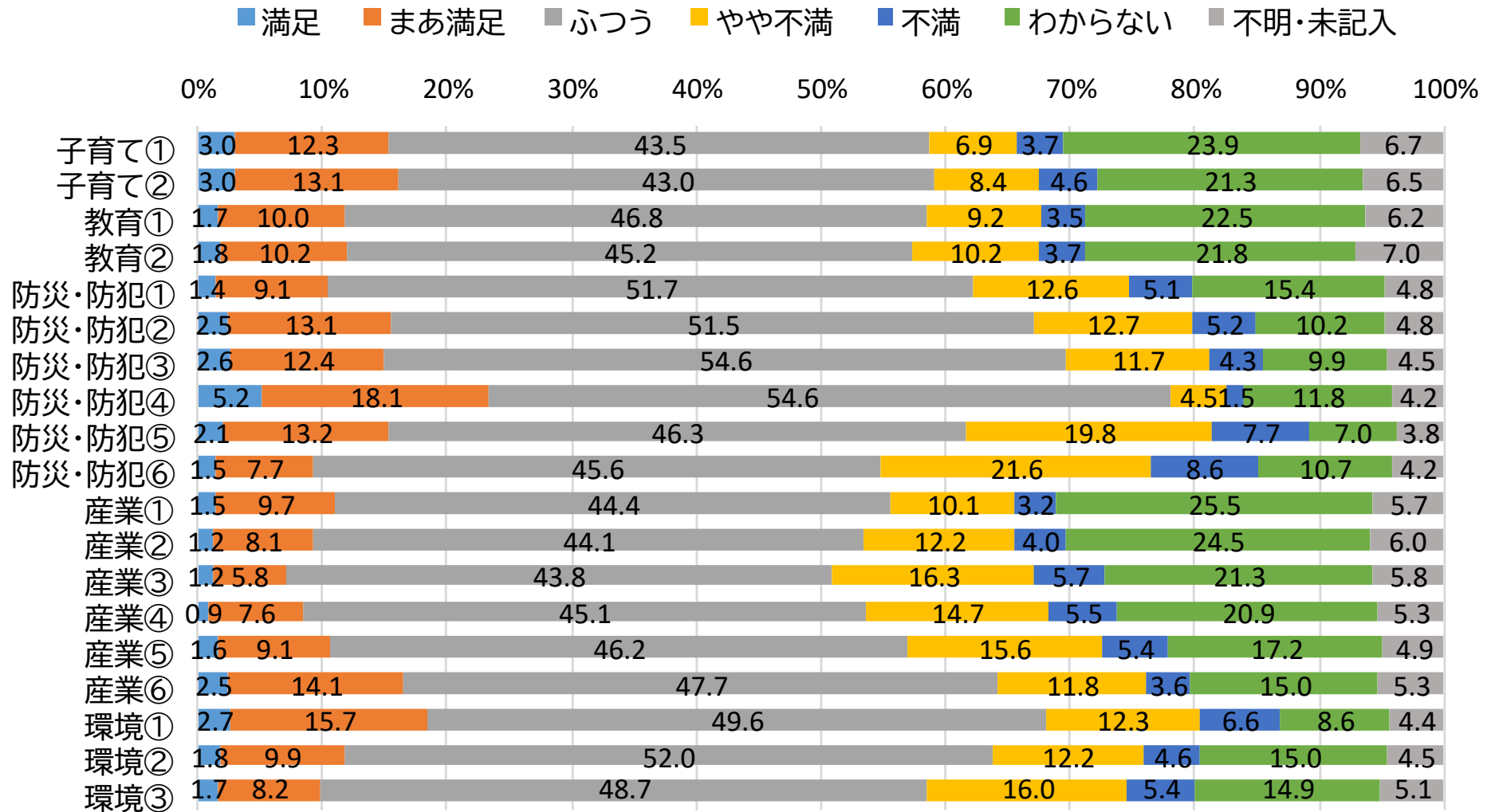
分野	No	項目内容
子育て	①	安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり
	②	子どもの保育環境と幼児教育環境の整備
教育	①	社会を生き抜く子どもの育成
	②	教育環境の充実
防災・防犯	①	危機管理体制の充実
	②	市民の危機管理意識の醸成
	③	防災力・減災力の向上
	④	消防力の向上と施設などの整備の推進
	⑤	交通事故対策の推進
	⑥	防犯環境づくりの推進
産業	①	産業集積の基盤整備と企業誘致の推進
	②	企業の高度化・高付加価値化の推進
	③	消費活動の更なる活性化推進
	④	誰もが安心して働ける労働環境づくり
	⑤	第一次産業の活性化
	⑥	地域資源の活用による集客・交流人口の増加
環境	①	廃棄物の減量化推進とエネルギーの有効利用
	②	豊かな自然環境の保全
	③	安全・安心で快適な生活環境の構築
地域	①	協働のまちづくりの推進

分野	No	項目内容
地域	②	住民主体のまちづくりの推進
人権	①	平等で平和な社会の実現
	②	男女共同参画社会の実現
	③	多文化共生社会の実現
スポーツ・文化	①	自ら学び、広げる文化と生涯学習活動の推進
	②	文化財保護の推進
	③	スポーツを通じた豊かさの醸成
健康・福祉	①	地域に根ざした高齢者福祉の推進
	②	地域共生社会の実現に向けた障がい者福祉の推進
	③	医療体制・制度の充実
	④	健康の維持と増進
	⑤	自立した暮らしの充実
都市空間	①	整備優先度の高い道路の整備
	②	移動空間の安全性・利便性の確保と公共交通の利便性の向上
	③	都市施設の効率的な整備と維持管理の推進
	④	効果的な規制・誘導による快適でやすらぎのあるまちづくりの促進
行政	①	職員力と組織力の強化
	②	行政経営力の更なる強化
	③	財源の確保と計画的な財政運営
	④	適正な事務執行

調査結果 【問4】市政に対する満足度(1)

- 各項目に対する満足度評価の結果は下記のとおりとなっている。

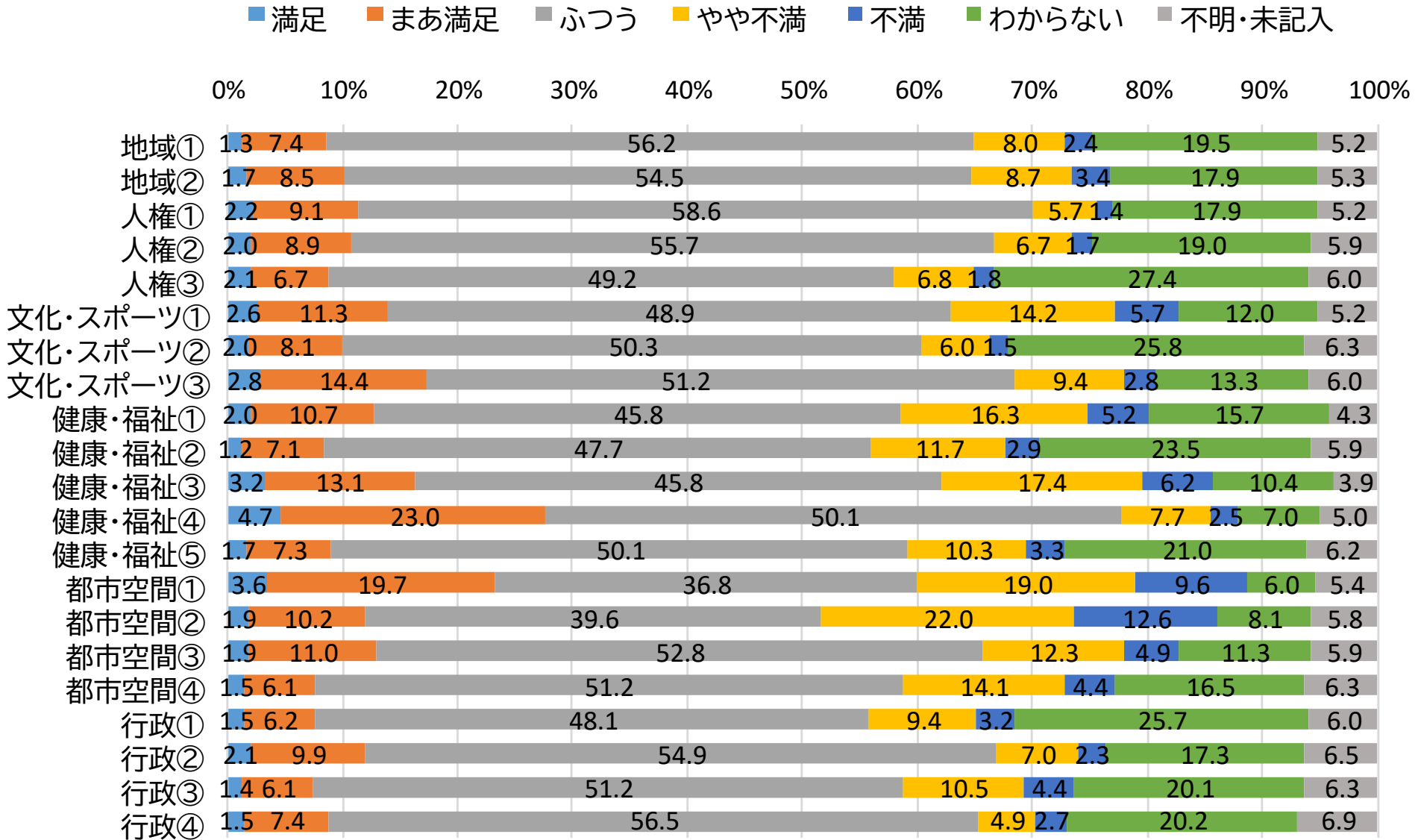
<市政に対する満足度(1)> (n=1,378)



調査結果 【問4】市政に対する満足度(2)

＜市政に対する満足度(2)＞

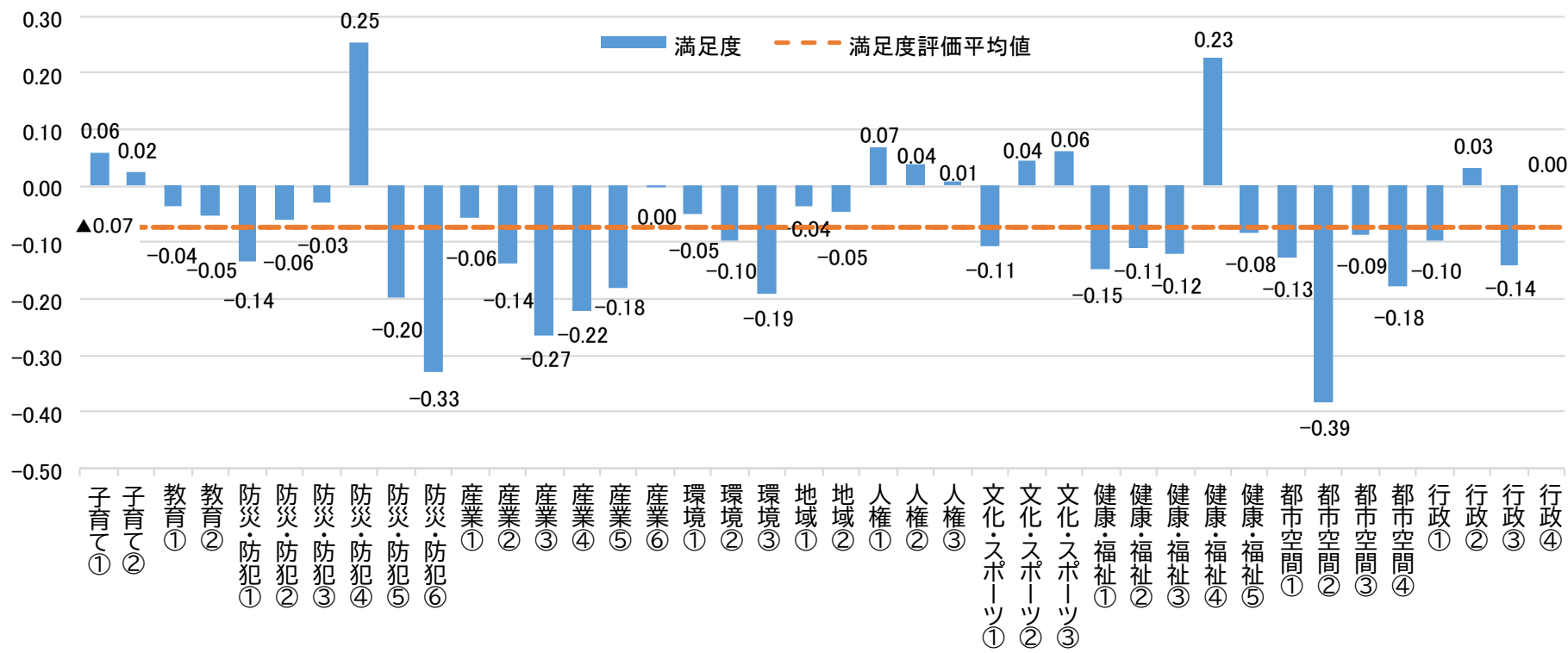
(n=1,378)



調査結果 【問4】市政に対する満足度(3)

- 全40項目のうち、10項目の満足度がプラス、29項目の満足度がマイナスとなり、マイナスとなった項目数がプラスとなった項目数を19項目上回っている。全40項目の満足度評価平均値は▲0.07となった。

＜市政に対する満足度評価＞



満足度＝

$$\frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「まあ満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2)}{\text{全回答数}(n) - \text{「わからない」} - \text{不明・未記入数}}$$

調査結果 【問4】市政に対する満足度(4)

- 分野別でみると、子育て分野と人権分野の満足度が最も高く、都市空間分野の満足度が最も低くなった。子育て分野と人権分野以外の9分野では満足度がマイナスとなった。
- 項目別でみると、防災・防犯④の満足度が最も高く、都市空間②の満足度が最も低くなった。

<分野別満足度評価平均値>

分 野	満足度評価平均値
子育て(2項目)	0.04
教育(2項目)	▲ 0.05
防災・防犯(6項目)	▲ 0.08
産業(6項目)	▲ 0.14
環境(3項目)	▲ 0.11
地域(2項目)	▲ 0.04
人権(3項目)	0.04
文化・スポーツ(3項目)	▲ 0.00
健康・福祉(5項目)	▲ 0.05
都市空間(4項目)	▲ 0.19
行政(4項目)	▲ 0.05

<満足度評価が高い上位5項目>

順位	項 目	満足度評価
1	消防力の向上と施設などの整備の推進(防災・防犯④)	0.25
2	健康の維持と増進(健康・福祉④)	0.23
3	平等で平和な社会の実現(人権①)	0.07
4	スポーツを通じた豊かさの醸成(文化・スポーツ③)	0.06
5	安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり(子育て①)	0.06

<満足度評価が低い上位5項目>

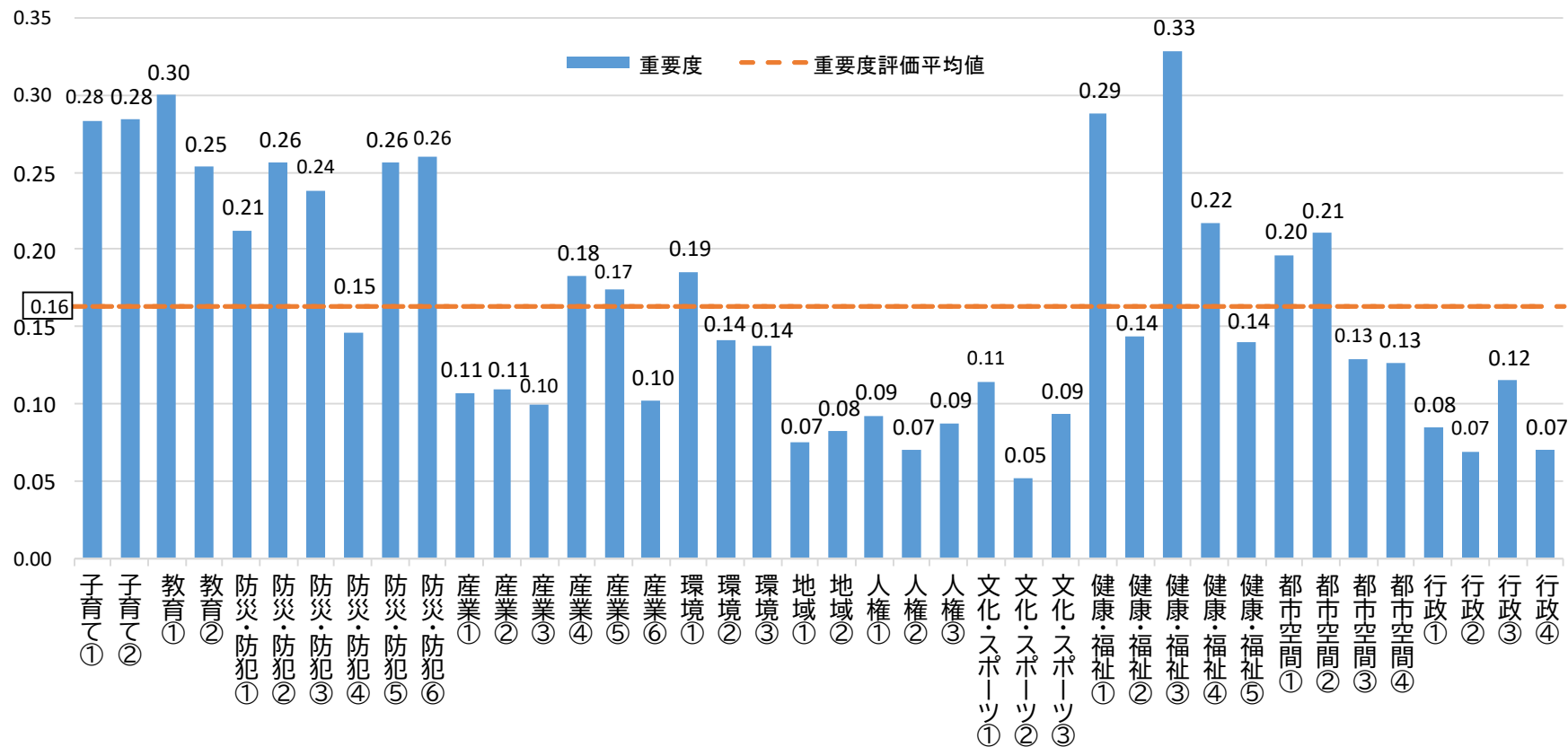
順位	項 目	満足度評価
40	移動空間の安全性・利便性の確保と公共交通の利便性の向上(都市空間②)	▲ 0.39
39	防犯環境づくりの推進(防災・防犯⑥)	▲ 0.33
38	消費活動の更なる活性化推進(産業③)	▲ 0.27
37	誰もが安心して働ける労働環境づくり(産業④)	▲ 0.22
36	交通事故対策の推進(防災・防犯⑤)	▲ 0.20

調査結果 【問4】市政のうち重要だと思う取組(1)

- 全40項目の重要度評価平均値は0.16となり、全40項目のうち、重要度が平均値を上回ったのは17項目、下回ったのは23項目となった。

<市政に対する重要度評価>

(n=1,378)



「特に重要だと思う取組」の回答数

重要度 = $\frac{\text{「特に重要だと思う取組」の回答数}}{\text{全回答数(n)}}$

調査結果 【問4】市政のうち重要だと思う取組(2)

- 分野別でみると、子育て分野の重要度が最も高く、行政分野の重要度が最も低くなった。
- 項目別でみると、健康・福祉③の重要度が最も高く、文化・スポーツ②が最も低くなった。

<分野別重要度評価平均値>

分 野	重要度評価平均値
子育て(2項目)	0.28
教育(2項目)	0.28
防災・防犯(6項目)	0.23
産業(6項目)	0.13
環境(3項目)	0.15
地域(2項目)	0.08
人権(3項目)	0.08
文化・スポーツ(3項目)	0.09
健康・福祉(5項目)	0.22
都市空間(4項目)	0.17
行政(4項目)	0.08

<重要度評価が高い上位5項目>

順位	項 目	重要度評価
1	医療体制・制度の充実(健康・福祉③)	0.33
2	社会を生き抜く子どもの育成(教育①)	0.30
3	地域に根ざした高齢者福祉の推進(健康・福祉①)	0.29
4	子どもの保育環境と幼児教育環境の整備(子育て②)	0.28
5	安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり(子育て①)	0.28

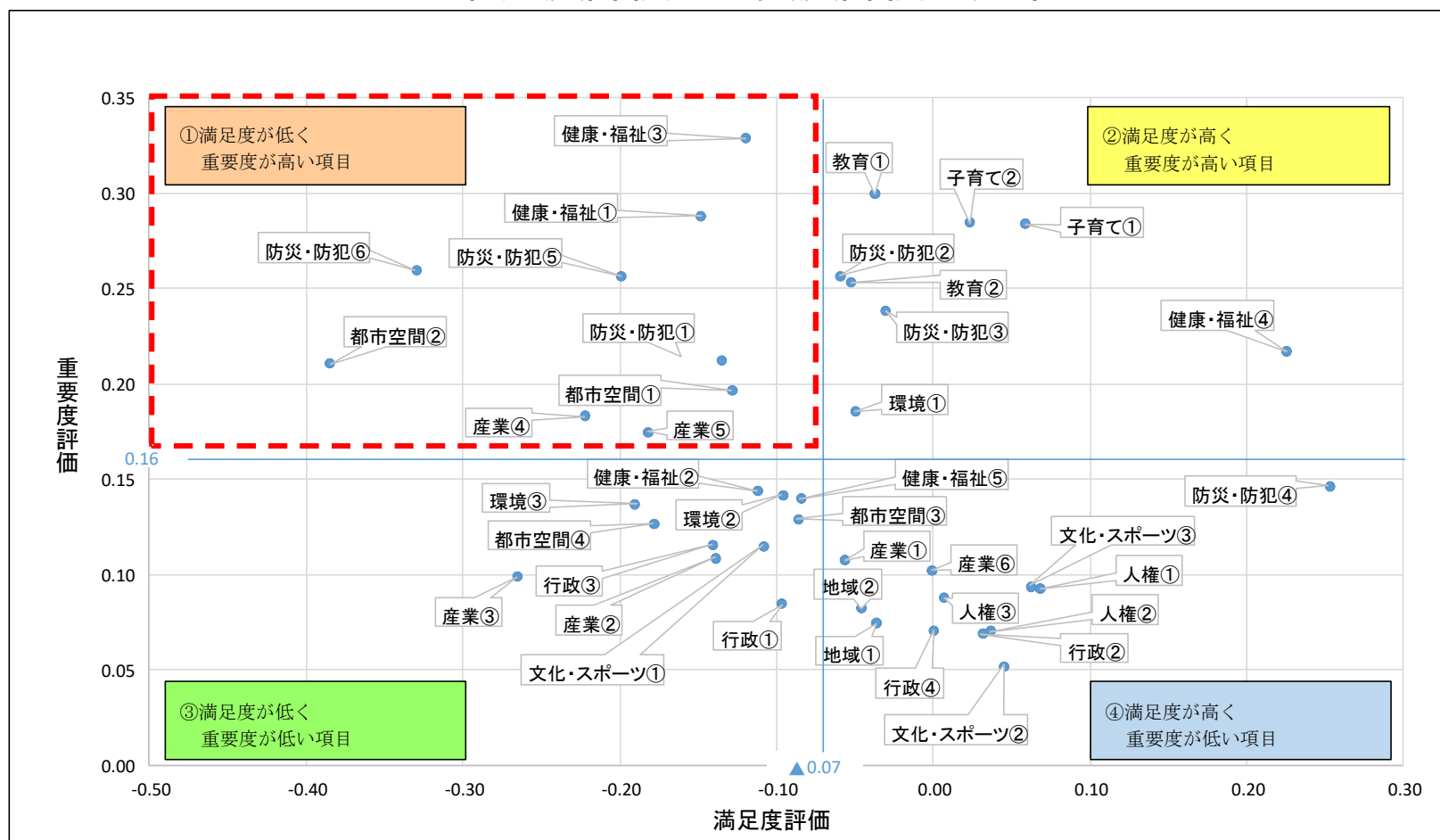
<重要度評価が低い上位5項目>

順位	項目	重要度評価
40	文化財保護の推進(文化・スポーツ②)	0.05
39	行政経営力の更なる強化(行政②)	0.07
37	適正な事務執行(行政④)	0.07
37	男女共同参画社会の実現(人権②)	0.07
36	協働のまちづくりの推進(地域①)	0.07

調査結果 【問4】満足度評価と重要度評価の分布

- 重要度評価を縦軸、満足度評価を横軸とした散布図では、満足度及び重要度のそれぞれの平均点(青色の実線)を基準として4つの範囲に分類した。
- 市民が改善を求める意識が強い取組と考えることができる、「①満足度が低く、重要度が高い項目」(赤色の点線)に分類される項目数は9項目となった。

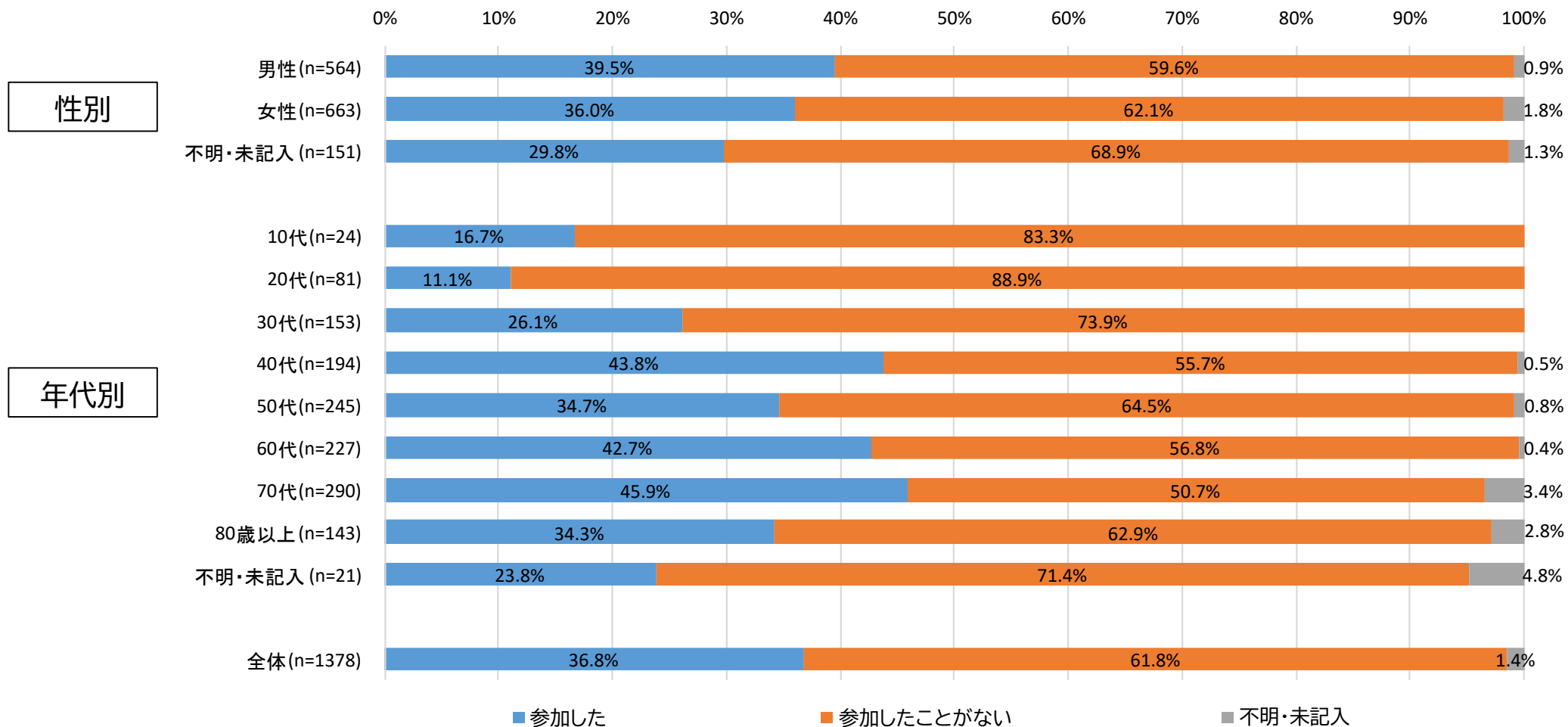
＜満足度評価と重要度評価の分布＞



調査結果 【問5】地域活動への参加

- 地域活動に参加したことがある人の割合は男性の方が女性よりも高くなっている。年代別でみると、20代以下は20%以下と30代以上より低い。

＜地域活動への過去3年以内の参加経験＞

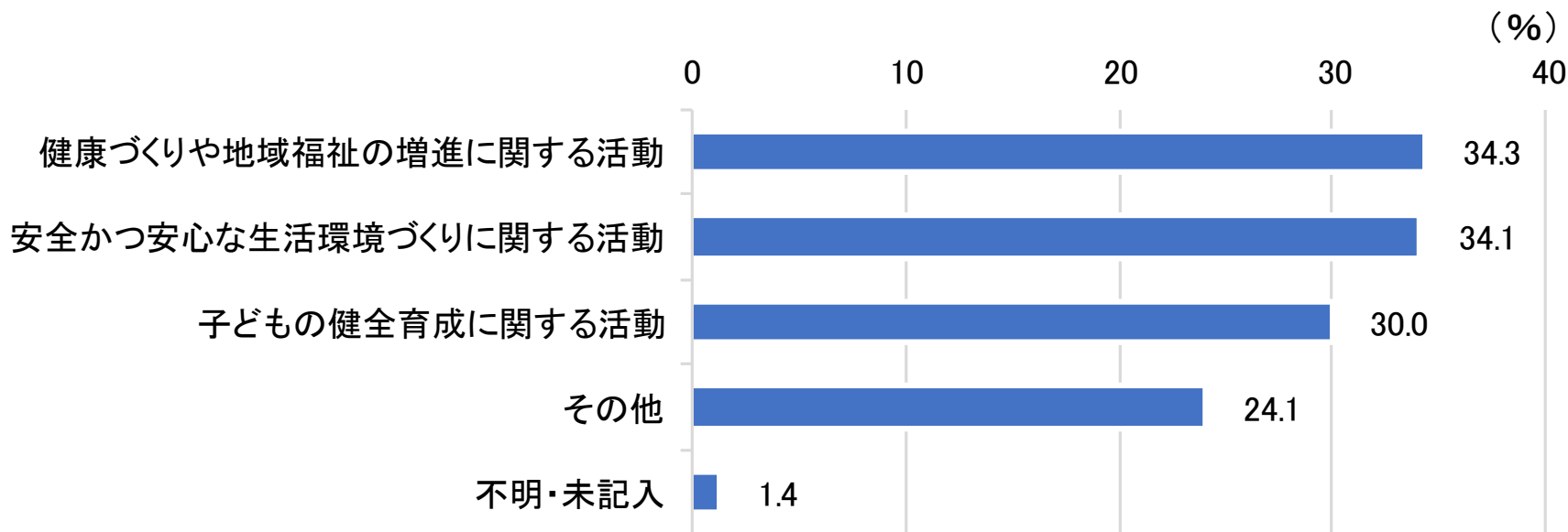


調査結果 【問5－1】参加した地域活動

- 【問5】で「参加した」と回答した人の参加した地域活動の割合は、「健康づくりや地域福祉の増進に関する活動」、「安全かつ安心な生活環境づくりに関する活動」、「子どもの健全育成に関する活動」とも30%以上となっている。

<参加した地域活動>

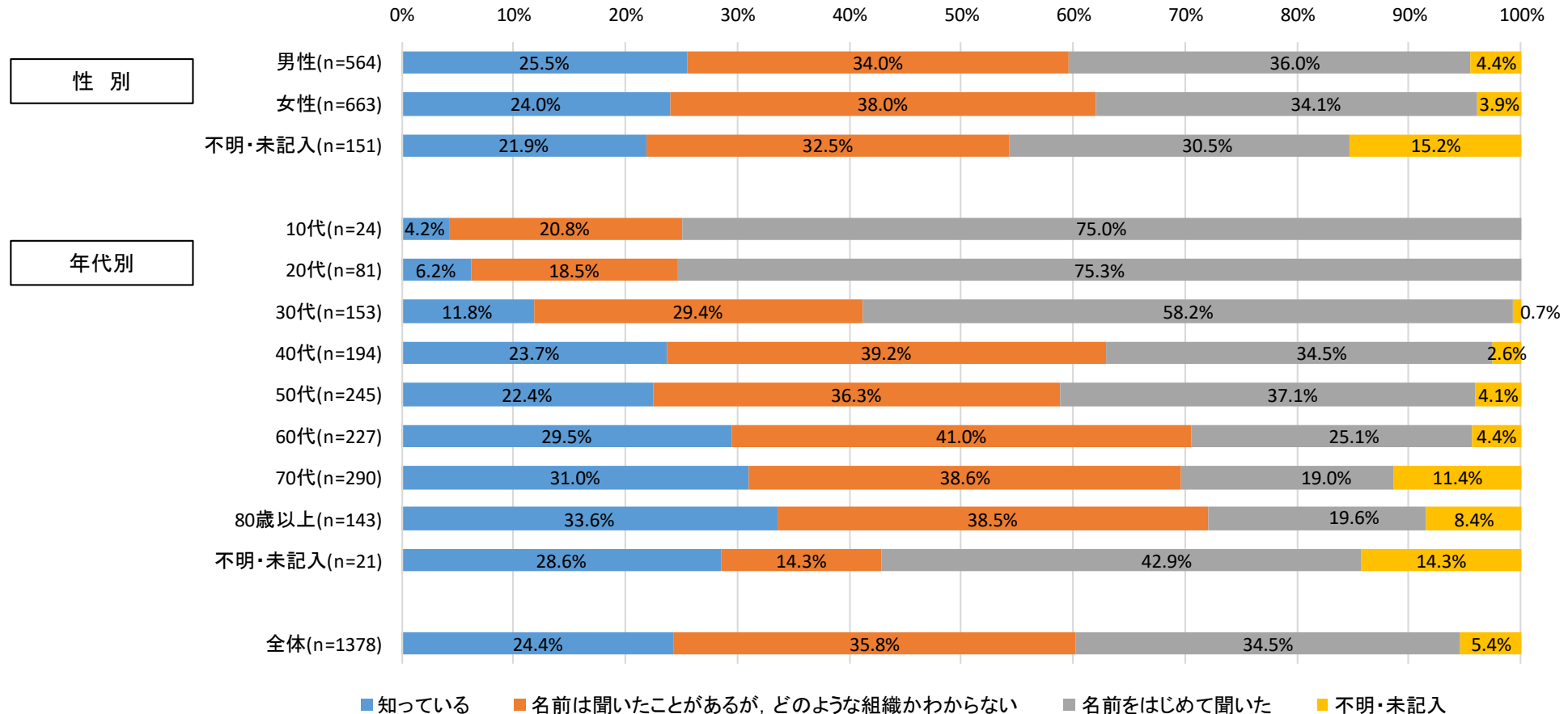
(n=507)



調査結果 【問6】地域づくり協議会

- 地域づくり協議会について、「名前は聞いたことがあるが、どのような組織かわからない」が35.8%と最も高く、「知っている」は24.4%となった。「知っている」と回答した人の割合は、男性の方が女性よりやや高く、年代が高くなるほど、上昇する傾向がみられる。

<「地域づくり協議会」の認知度>

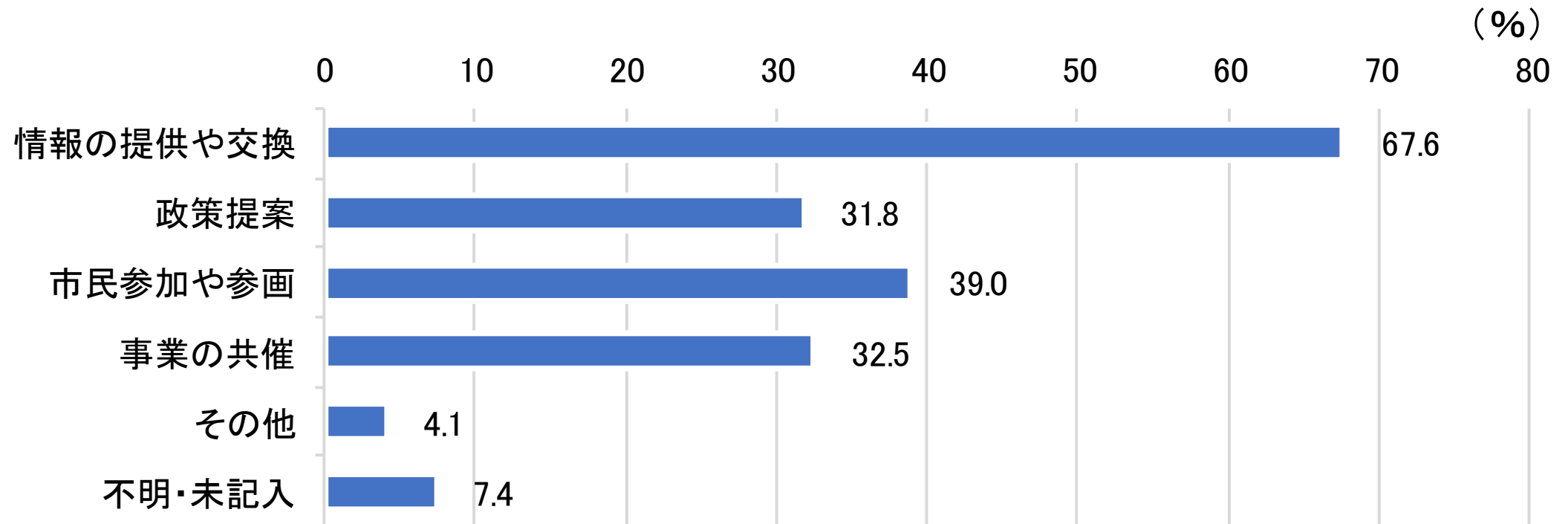


調査結果 【問7】協働でまちづくりを進めるために必要なこと

- 地域と行政が、協働でまちづくりを進めるために必要なことは「情報の提供や交換」が67.6%と最も高く、次いで「市民参加や参画」が39.0%となっている。

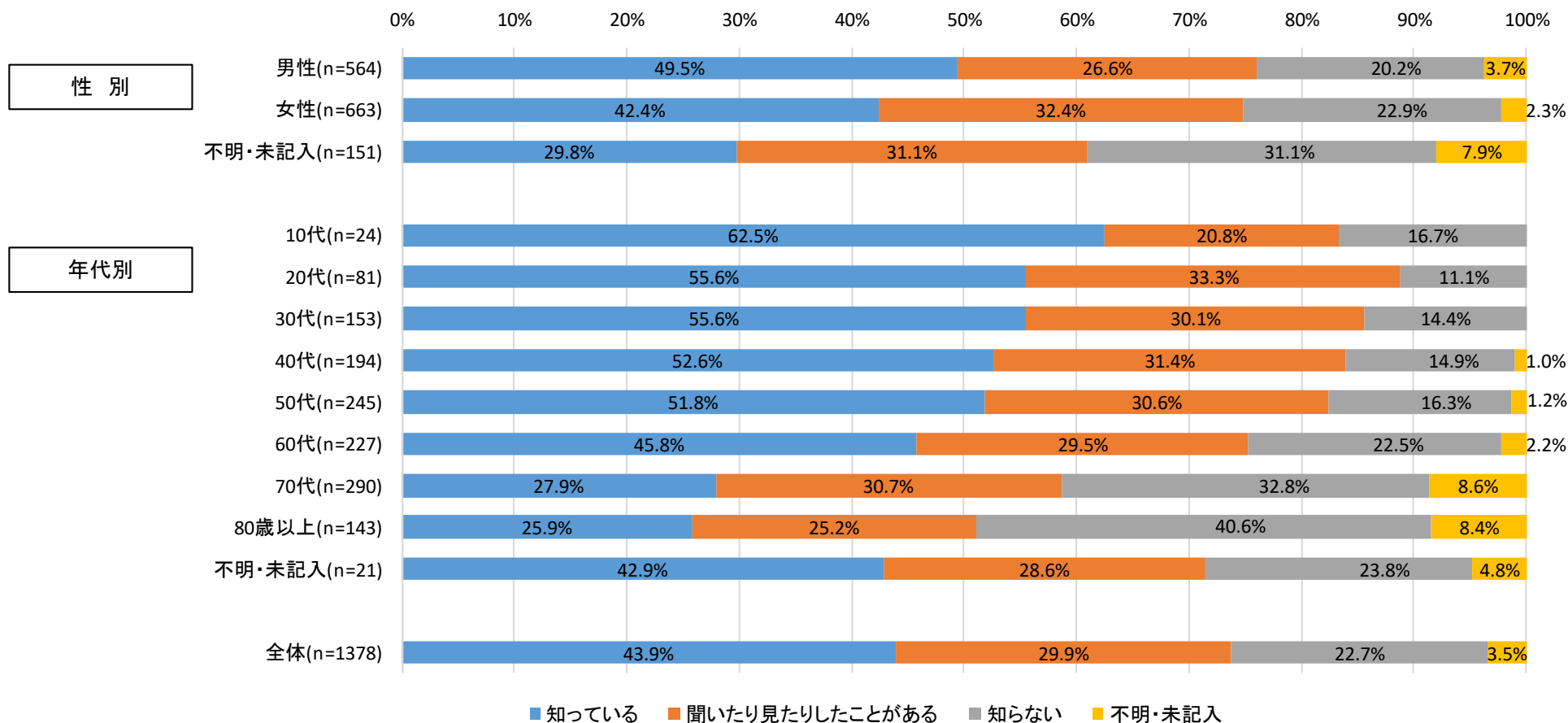
<まちづくりを進めるために必要なこと>

(n=1,378)



- SDGsの認知度は、「詳しく知っている」が43.9%と最も高く、「聞いたり見たりしたことがある」を合わせると73.8%となっている。「詳しく知っている」と回答した人の割合は、男性の方が女性よりも高く、年代が高くなるほど低下する傾向がみられる。

<SDGsの認知度>

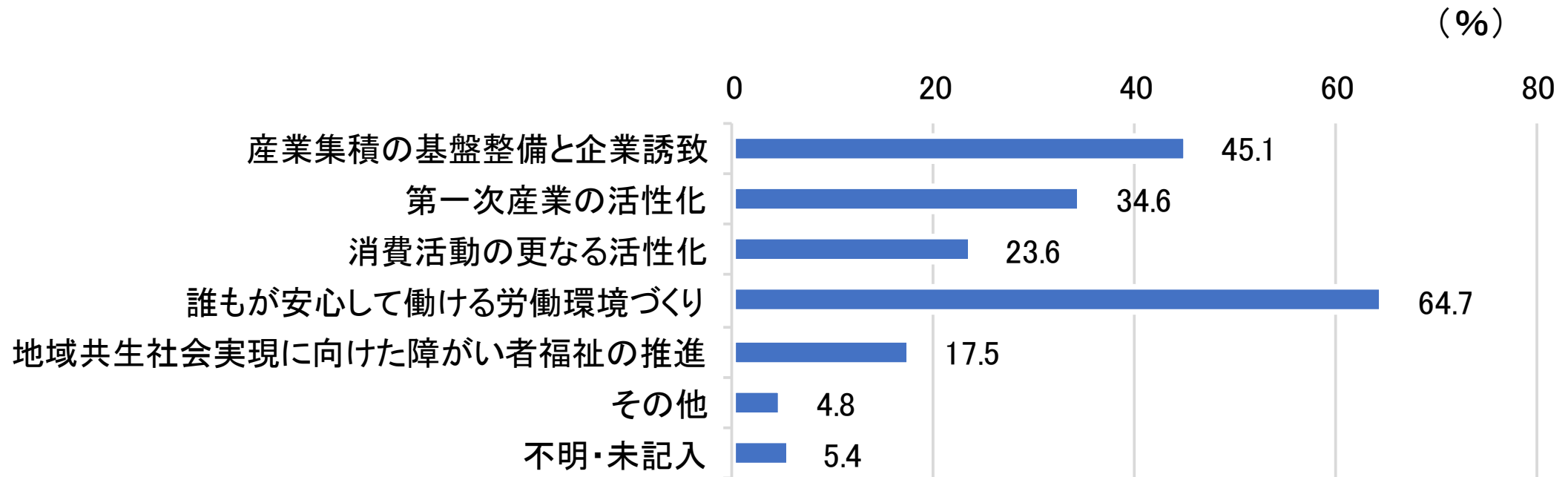


調査結果 【問9】人口減少への抑止策(1)

- 競争力ある産業の創造と雇用の創出では、「誰もが安心して働ける労働環境づくり」と回答した人の割合が64.7%と最も高く、次いで「産業集積の基盤整備と企業誘致」(45.1%)が高くなっている。

<競争力ある産業の創造と雇用の創出>

(n=1,378)

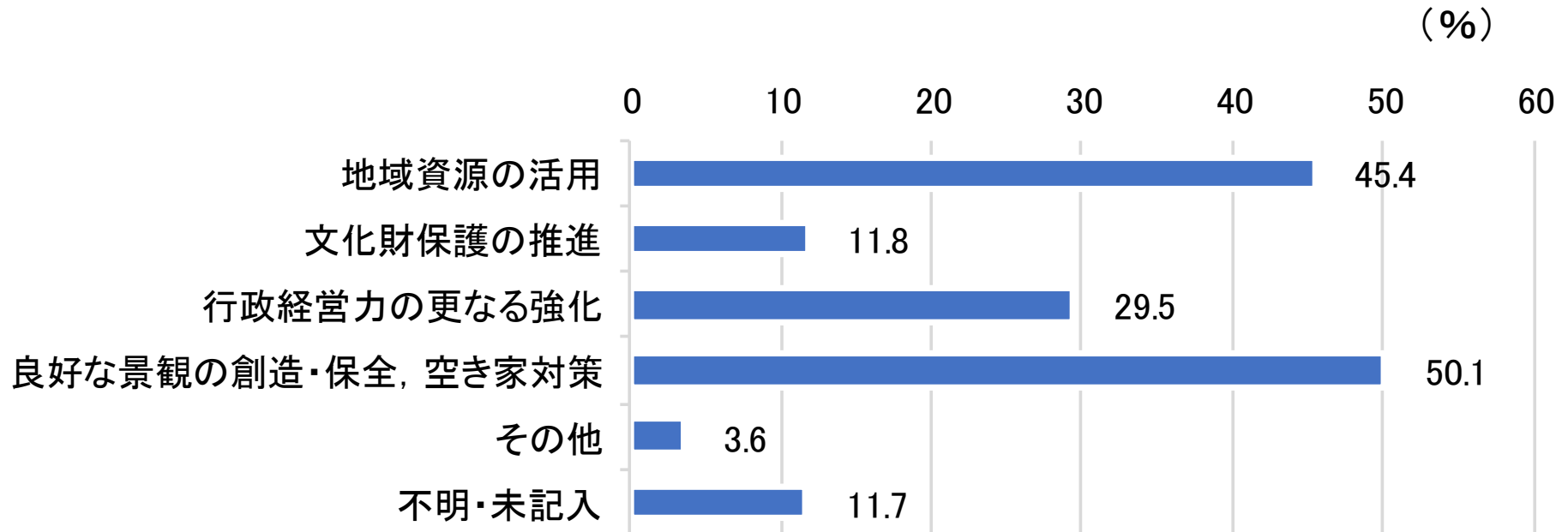


調査結果 【問9】人口減少への抑止策(2)

- 魅力の創造と定住人口・交流人口の拡大では、「良好な景観の創造・保全, 空き家対策」と回答した人の割合が50.1%と最も高く、次いで「地域資源の活用」(45.4%)が高くなっている。

<魅力の創造と定住人口・交流人口の拡大>

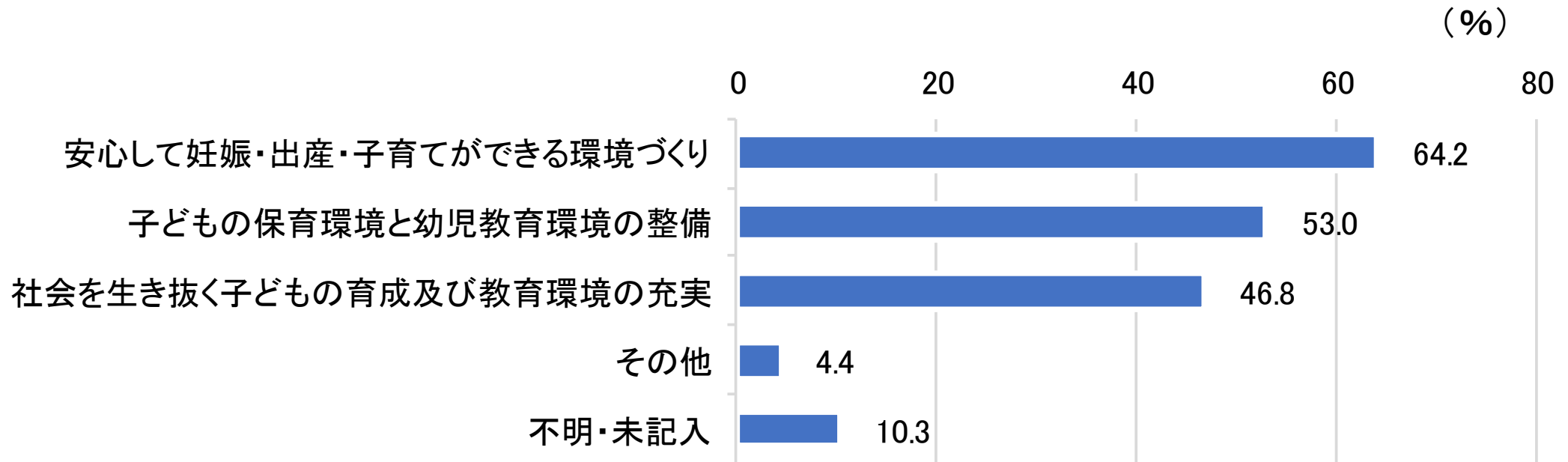
(n=1,378)



調査結果 【問9】人口減少への抑止策(3)

- 安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現では、「安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり」と回答した人の割合が64.2%と最も高く、次いで「子どもの保育環境と幼児教育環境の整備」(53.0%)が高くなっている。

＜安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現＞ (n=1,378)



1. 意見交換会の目的

市政アンケートの対象にならない18歳未満や、対象にはなるが回答率の低い傾向にある10代から20代までに対し、各行政分野への意見や、目指す都市の方向性について意見を聴取するため、市内高等教育機関及び高等学校と意見交換を行った。

2. 意見交換会の内容

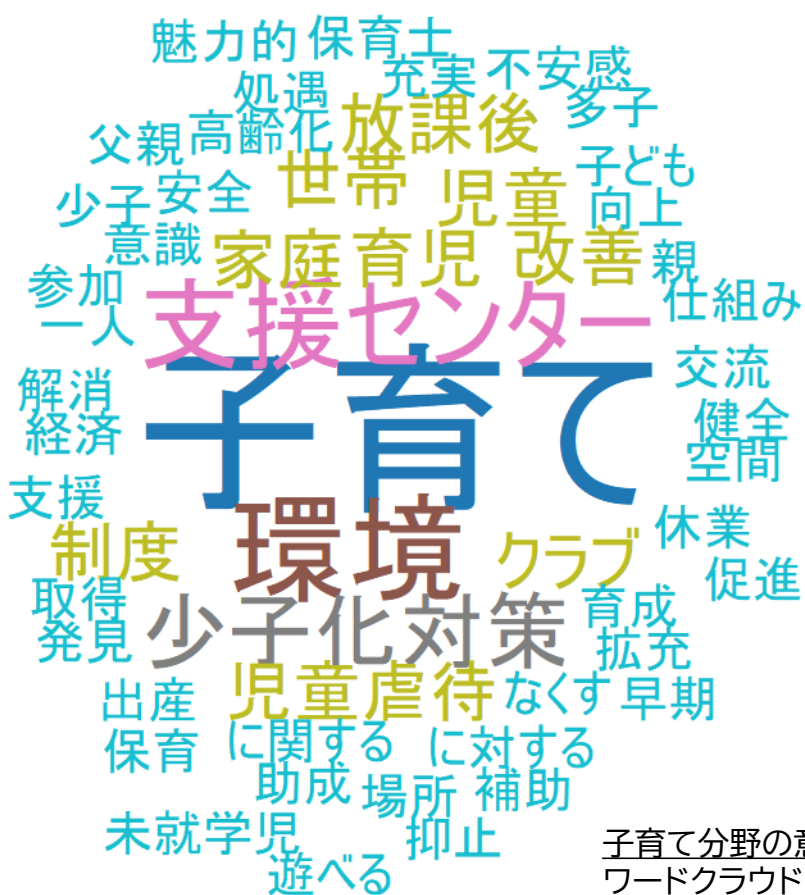
市の取組を11個の分野に分けて説明後、今後概ね10年間で特に重要だと思うものを選択し、重要だと思う理由等について意見交換を行った上で、将来に望む鈴鹿市の姿(どんな鈴鹿市になってほしいか)を市の将来像として考えてもらった。

3. 意見交換会の実施結果(開催順)

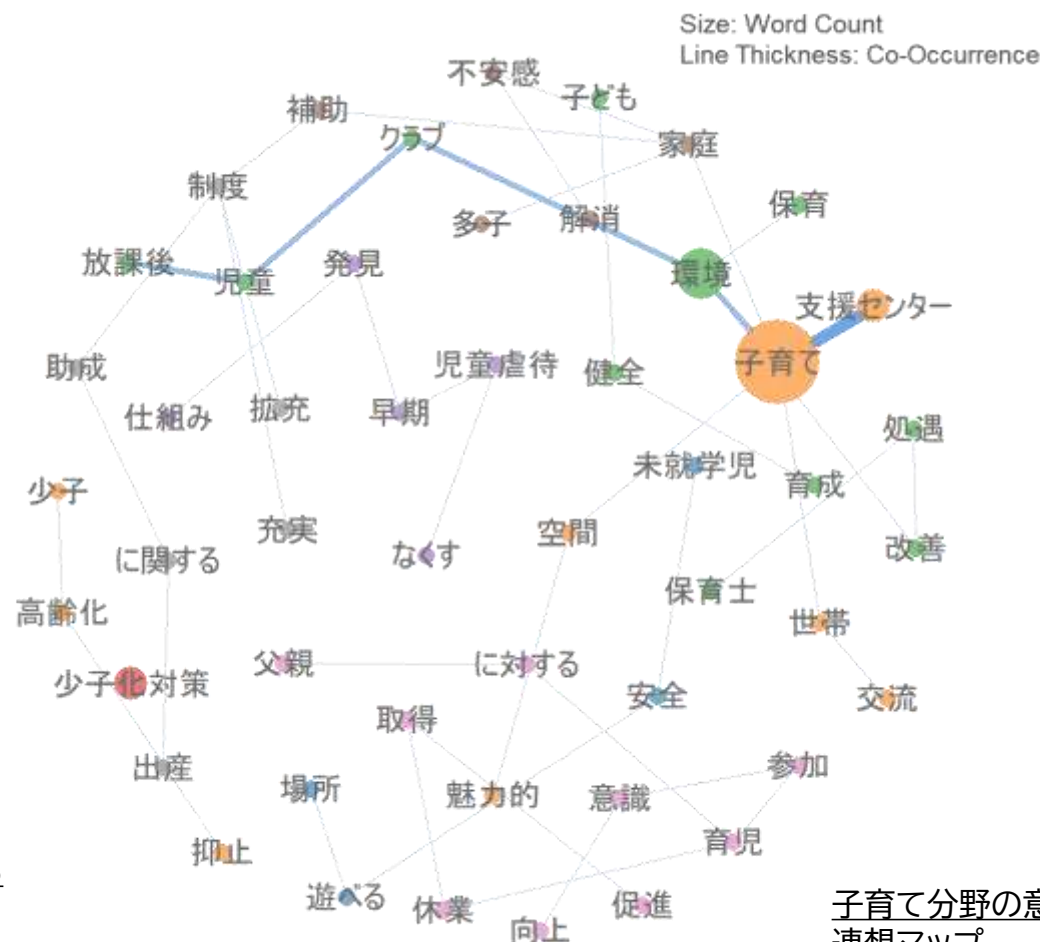
令和4年7月 6日(水)	鈴鹿工業高等専門学校	6名
令和4年7月 7日(木)	白子高等学校	7名
令和4年7月13日(水)	鈴鹿高等学校	9名
令和4年7月19日(火)	鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部	10名
令和4年7月22日(金)	神戸高等学校	6名
令和4年9月 6日(火)	鈴鹿医療科学大学	7名
令和4年9月16日(金)	飯野高等学校	4名
令和4年9月21日(水)	稻生高等学校	10名
令和4年9月27日(火)	石薬師高等学校	6名

1. 子育て分野

- 子育てに関する意見では、「支援センター」、「(子育て)環境」、「少子化対策」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、子育て環境づくりのため、「子育て支援センター」や「保育所」、「放課後児童クラブ」の充実が挙げられました。



子育て分野の意見に関する
ワードクラウド



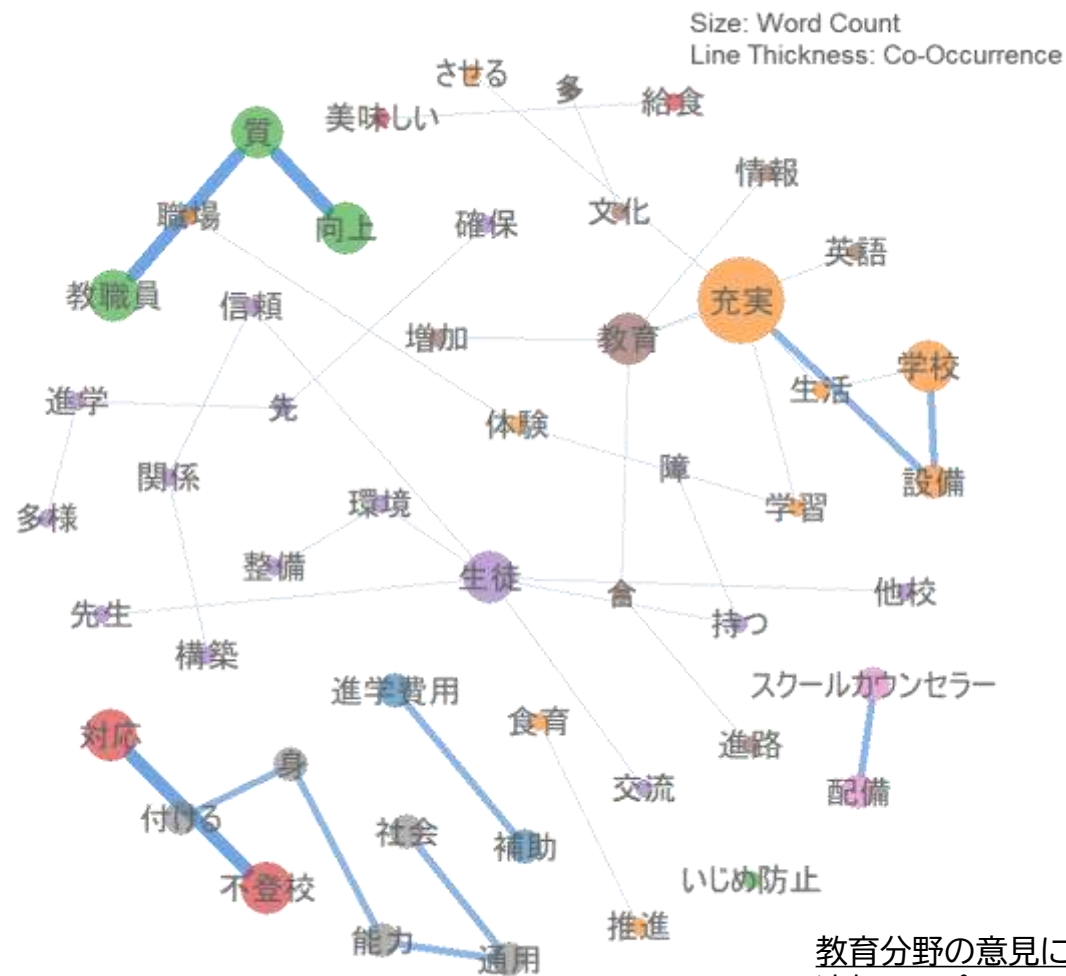
子育て分野の意見に関する
連想マップ

2. 教育分野

- 教育に関する意見では、「教職員」、「不登校」、「充実」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思ふ理由として、「学校設備の充実」や「不登校への対応」、「スクールカウンセラーの配備」、「教職員の質の向上」が挙げられました。



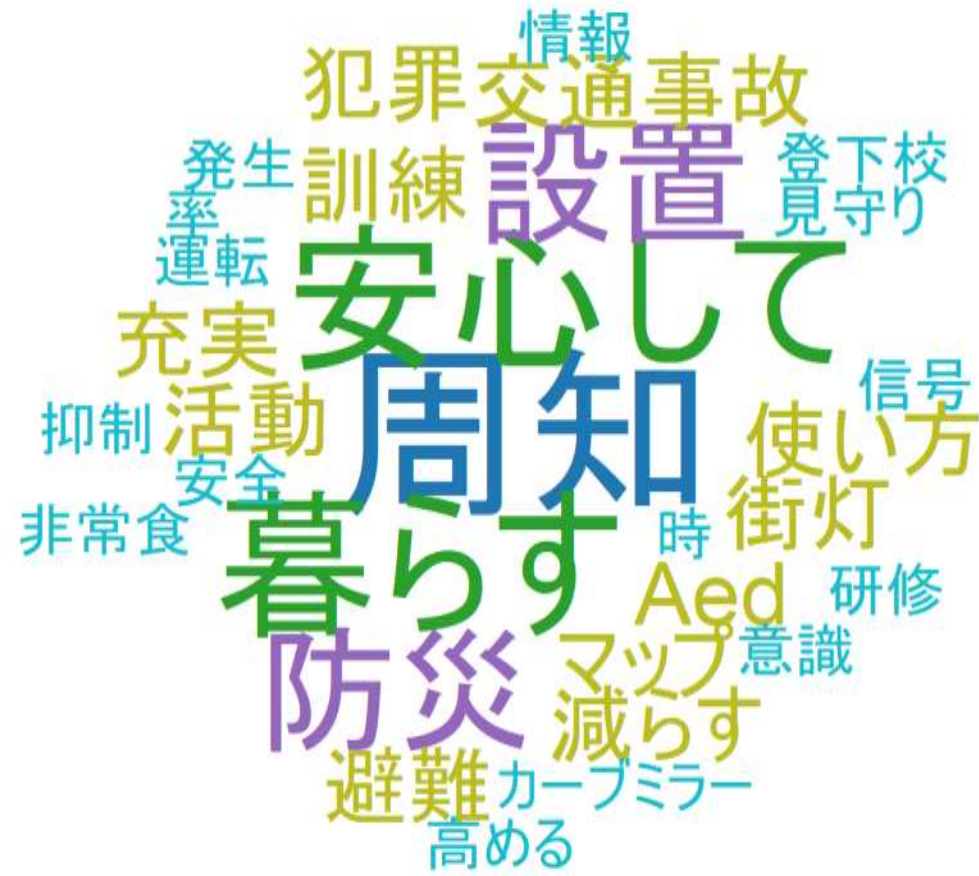
教育分野の意見に関する
ワードクラウド



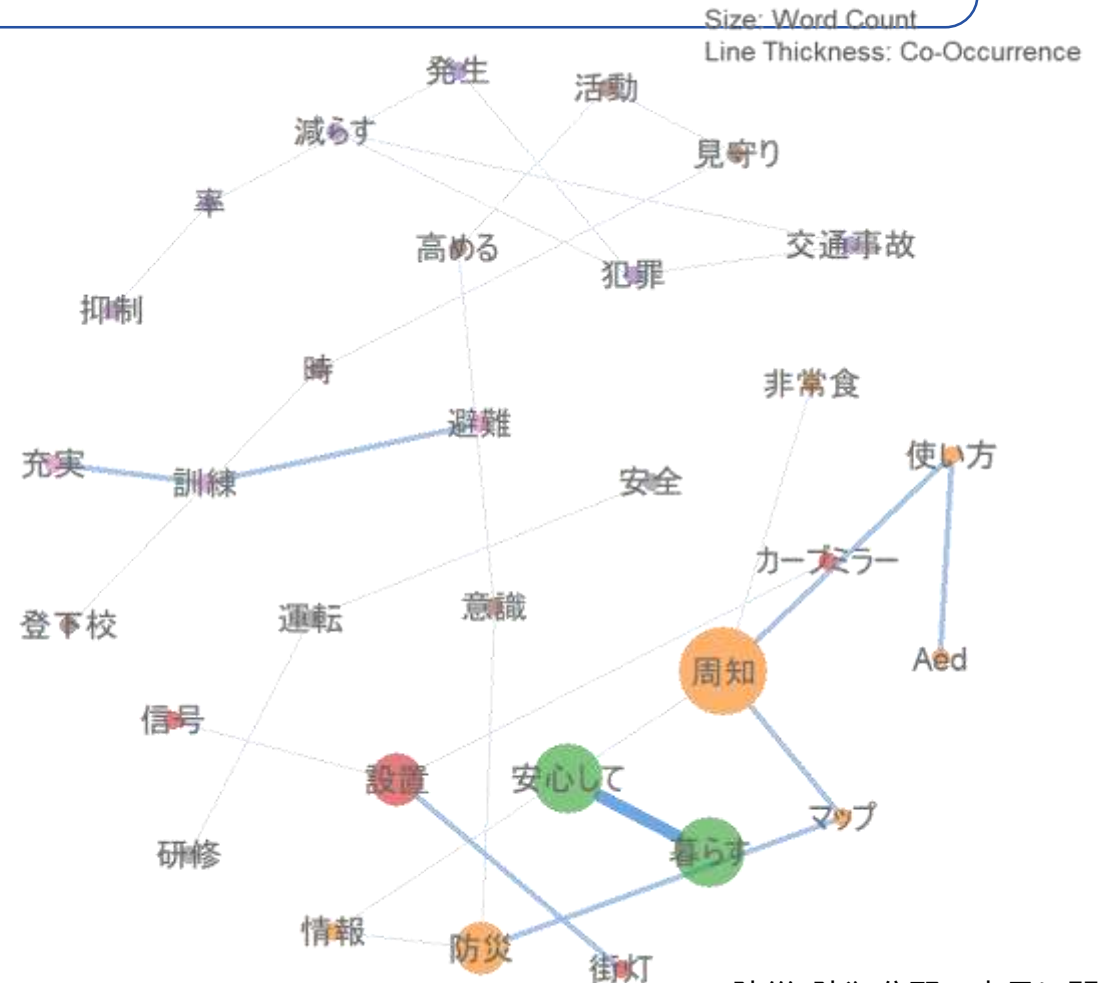
教育分野の意見に関する
連想マップ

3. 防災・防犯

- 防災・防犯に関する意見では、「周知」、「設置」、「安心」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「安心して暮らすこと」や「防災マップやAEDの周知」、「信号や街灯の設置」が挙げられました。

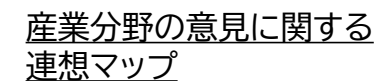
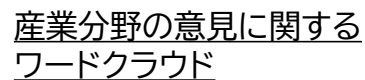


防災・防犯分野の意見に関する
ワードクラウド



防災・防犯分野の意見に関する
連想マップ

- 産業に関する意見では、「増加」や「活性化」、「情報発信」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「働く場所や移住、交流人口の増加」や「商店街やモータースポーツの活性化」、「伝統産業に関する情報発信」が挙げられました。

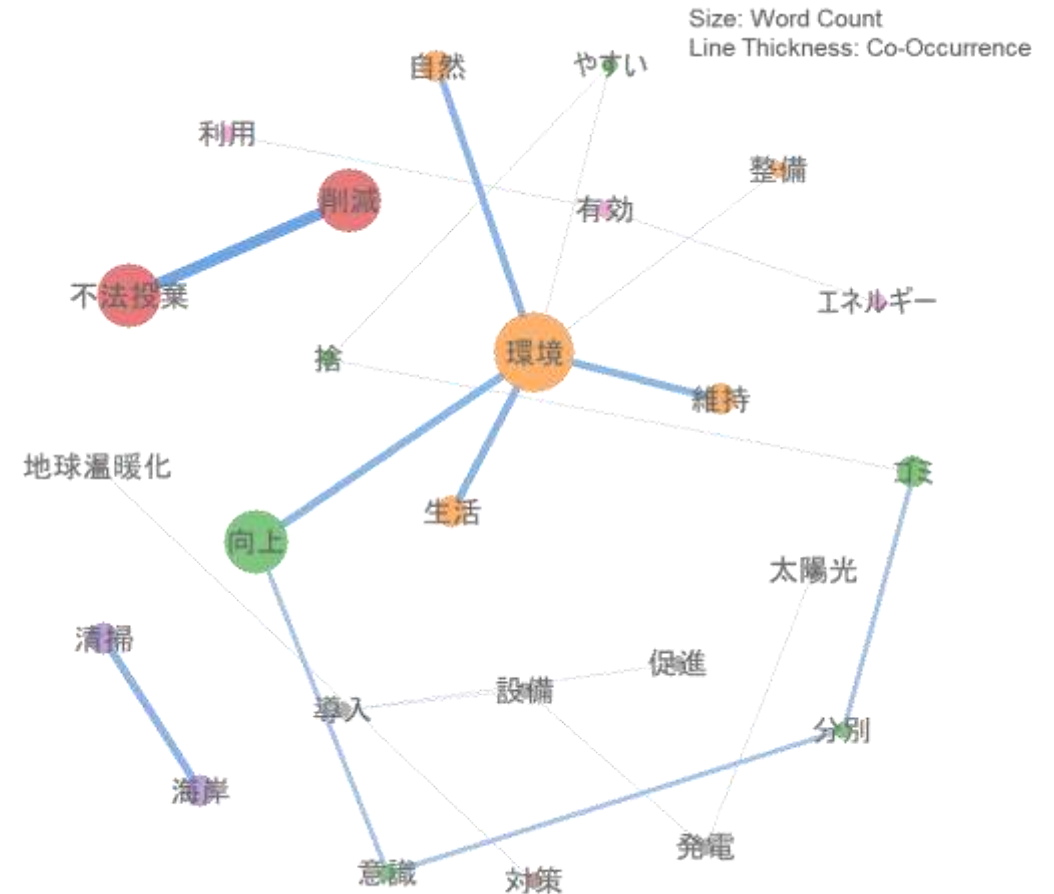


5. 環境分野

- 環境に関する意見では、「不法投棄」や「向上」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思ふ理由として、「生活環境や自然環境の維持・向上」や「不法投棄の削減」、「海岸清掃」が挙げられました。



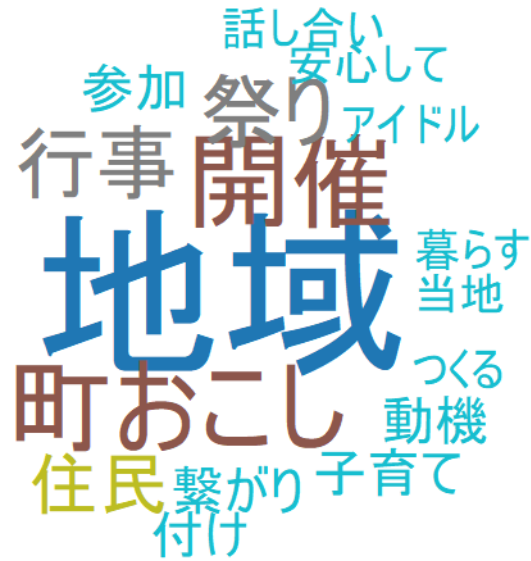
環境分野の意見に関する
ワードクラウド



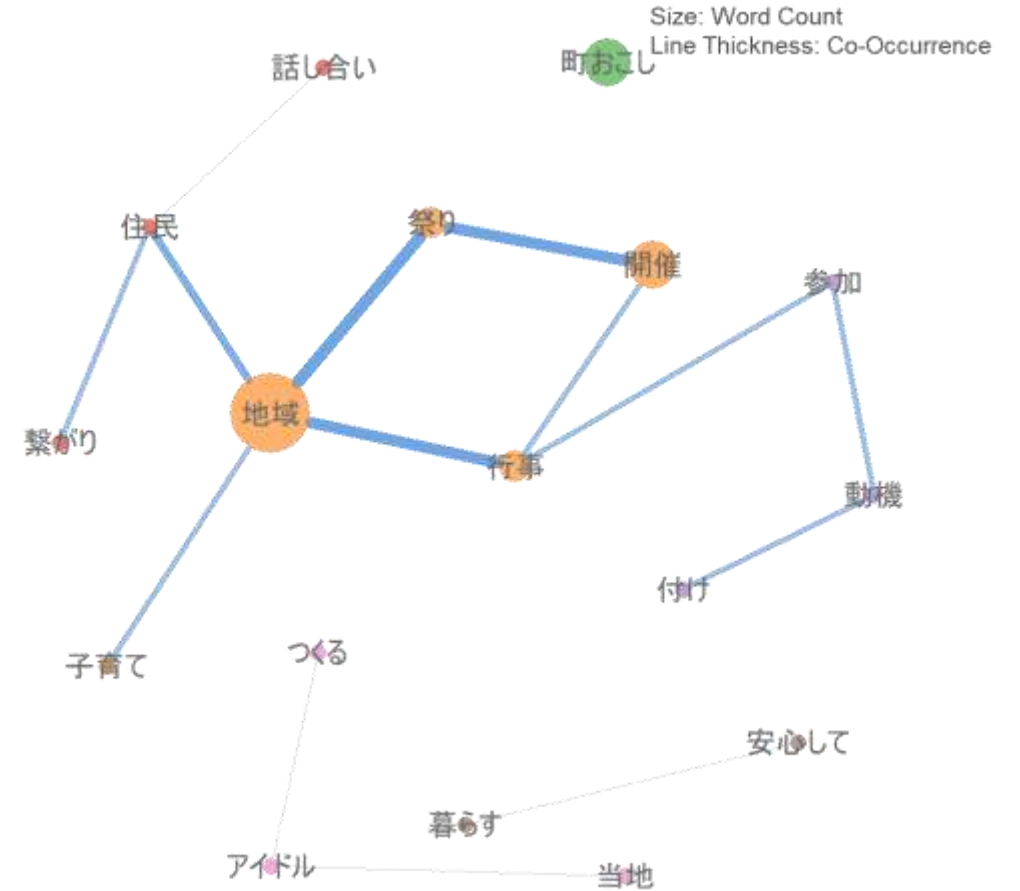
環境分野の意見に関する
連想マップ

6. 市民活動分野

- 市民活動に関する意見では、「地域」や「町おこし」、「開催」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思ふ理由として、「地域の祭りや行事の開催」や「住民の繋がり」が挙げられました。



市民活動分野の意見に関する
ワードクラウド



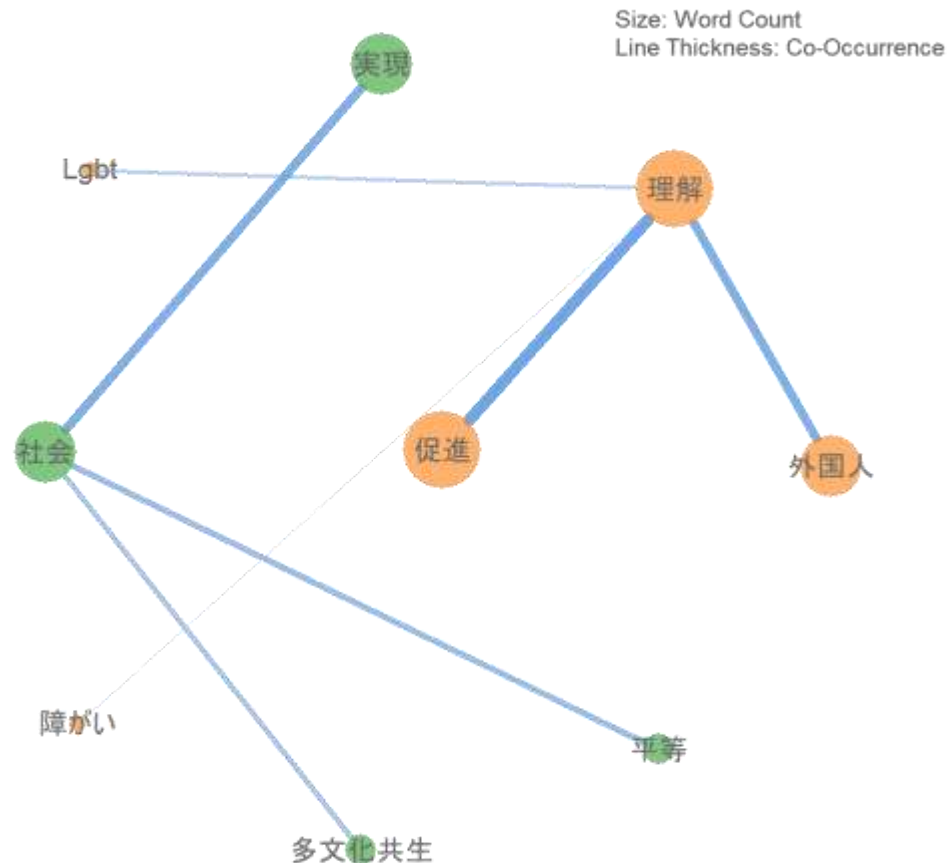
市民活動分野の意見に関する
連想マップ

7. 人権分野

- 人権に関する意見では、「理解の促進」や「外国人」、「実現」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「外国人やLGBTへの理解の促進」や「多文化共生社会や平等な社会の実現」が挙げられました。



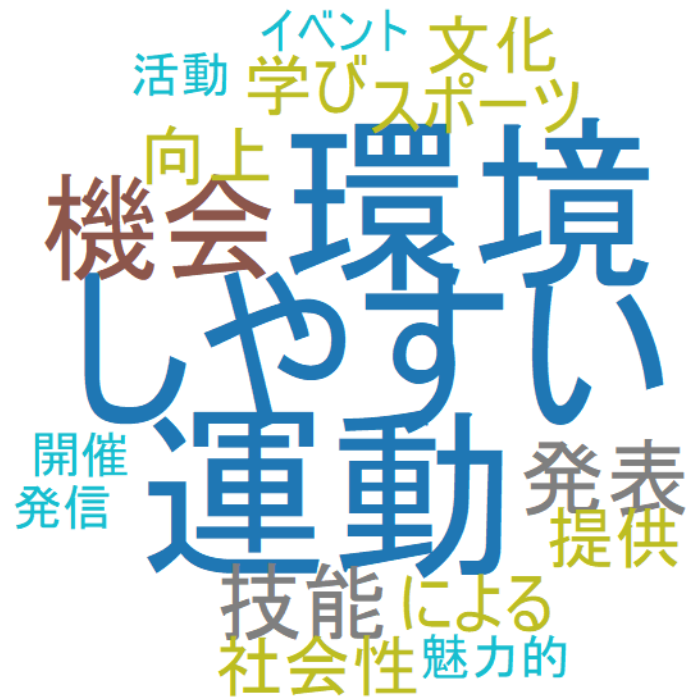
人権分野の意見に関する
ワードクラウド



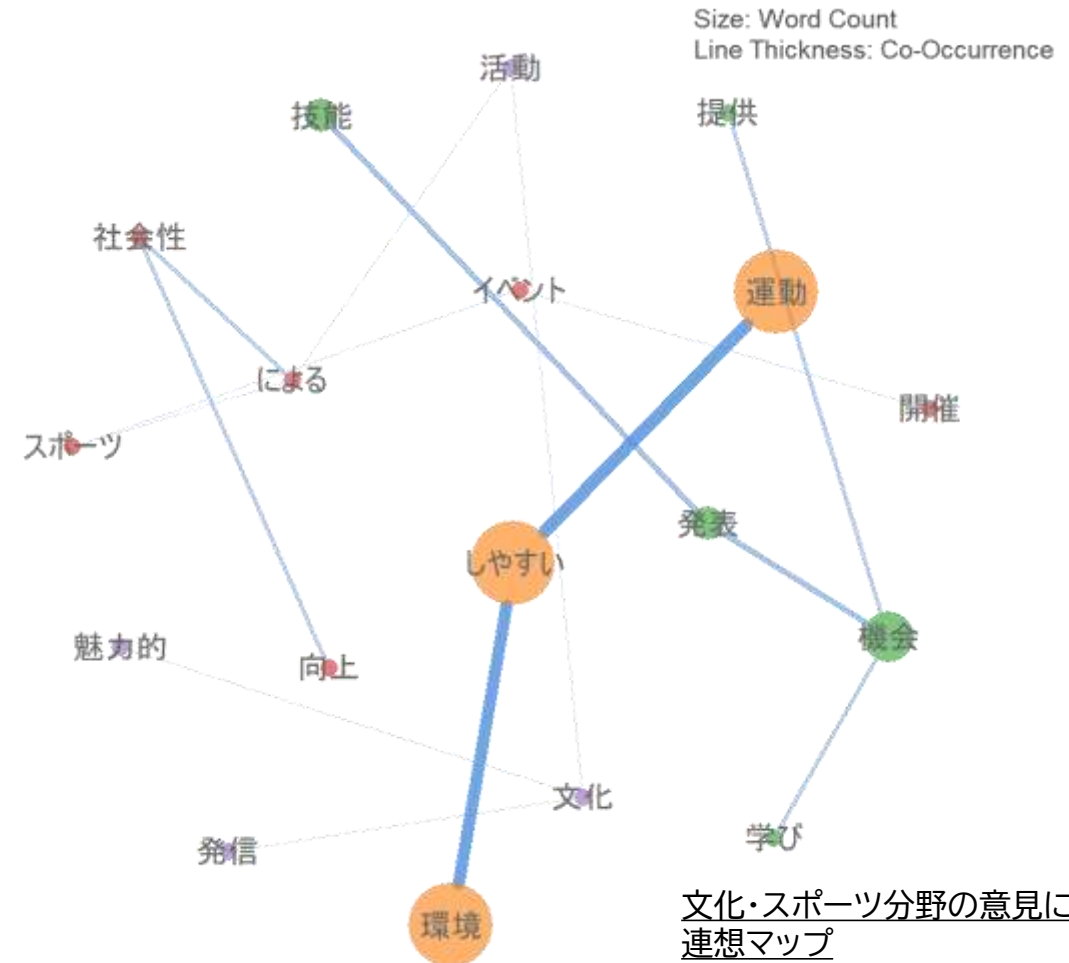
人権分野の意見に関する
連想マップ

8. 文化・スポーツ分野

- 文化・スポーツに関する意見では、「運動」や「技能」、「機会」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「運動しやすい環境」や「学びや技能を発表する機会の提供」が挙げられました。

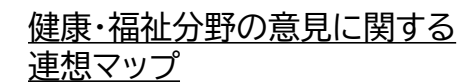
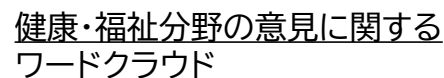


文化・スポーツ分野の意見に関する
ワードクラウド



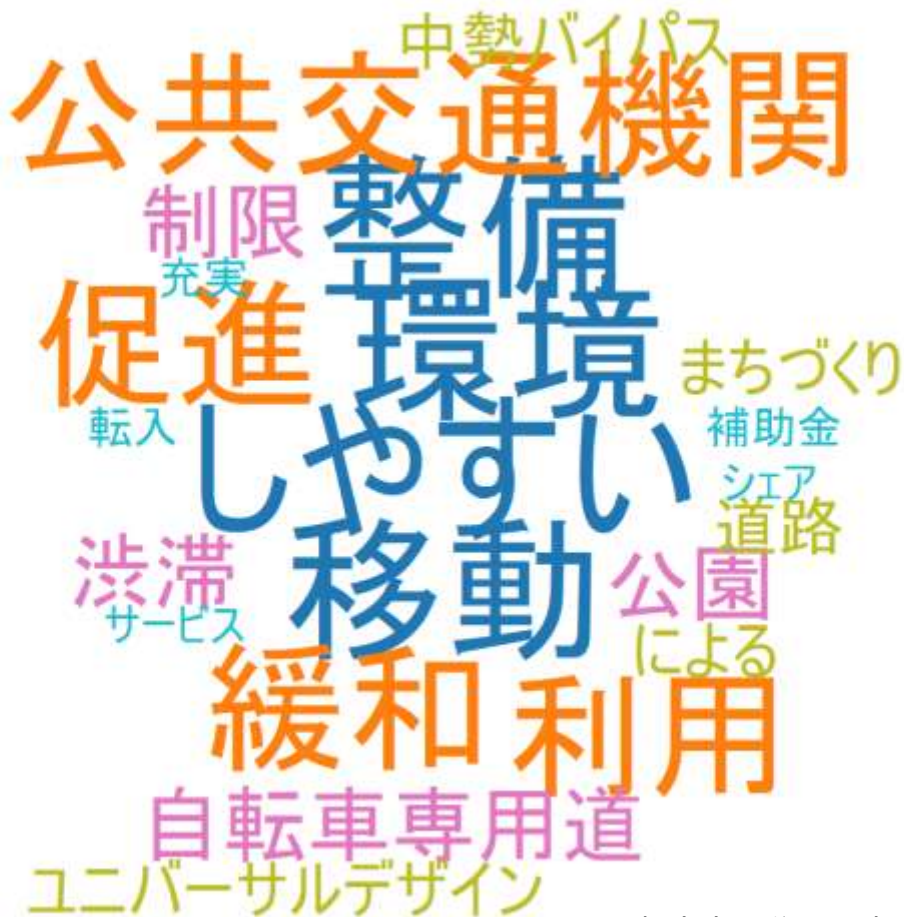
文化・スポーツ分野の意見に関する
連想マップ

- 健康・福祉に関する意見では、「サービス」や「高齢」、「医療」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「高齢者や障がい者へのサービスの提供」や「高齢化社会や貧困への対応」、「子ども医療の充実」が挙げられました。

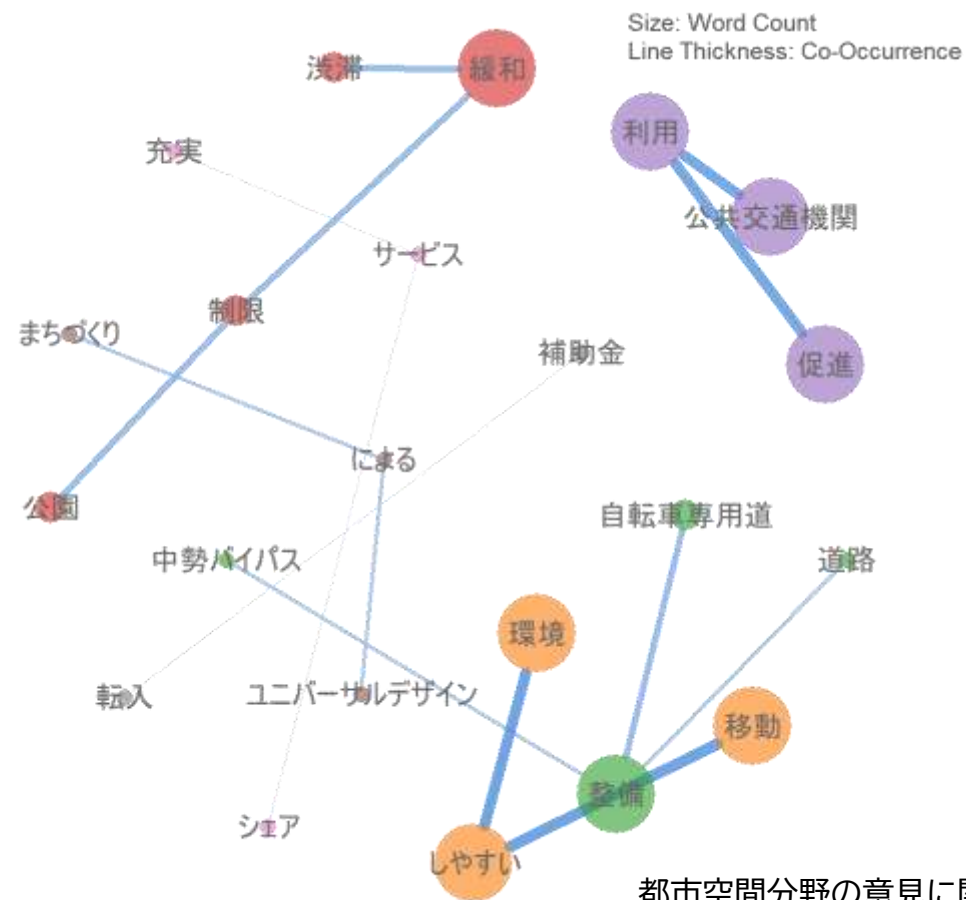


10. 都市空間分野

- 都市空間に関する意見では、「移動」や「整備」、「公共交通機関」、「緩和」というワードが多く挙げられました。
- 重要だと思う理由として、「移動しやすい環境」や「自転車専用道や中勢バイパスの整備」、「公共交通機関の利用促進」、「公園の制限や渋滞の緩和」が挙げられました。



都市空間分野の意見に関する
ワードクラウド



都市空間分野の意見に関する
連想マップ

11. 将来に望む鈴鹿市の姿①

- 各校において、次のとおり将来に望む鈴鹿市の姿を考えていただきました。

鈴鹿工業高等専門学校

- どの世代にも楽しめる場所があるまち
- 遊びも学びも満足に取り組めるまち
- つながりを感じるまち
- みんながたのしめるサーキットのまち
- 学びやすい街づくり
- 働きやすくて住みやすいまち

白子高等学校

- 誰もが安心して暮らせるまち
- 気づかいが伝わるまち

鈴鹿高等学校

- 0(ゼロ)から質の良い教育を受けられる鈴鹿市
- 学生が好きと思えるまちへ
- 笑顔輝く鈴鹿市

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

- お互いに違いを認め合えるまち
- 買い物でも旅でも絶対に”鈴鹿” AFTER 10YEAR
- 誰にも安全な町、住みやすい町 鈴鹿
- モータースポーツを盛んに
- 安心安全な子育てができる街
- みんなが安心して暮らせる町

神戸高等学校

- 若者の意見も反映して進化していくまち
- うちら(私, あなた, 高校生, 先生, ママ, 父ちゃん, おじちゃん, 鈴鹿市民)も参加(町づくり, 鈴鹿市総合計画)するんやに～

鈴鹿医療科学大学

- 未来の人を育てる活気あふれる街
- 健康で豊かに暮らせる街！
- みんなが自分らしくかがやける街
- 生活しやすいまち
- 活気があってにぎやかな街！！
- 子どもの笑顔があふれるまち
- 子供から大人まで気楽に運動できる町

飯野高等学校

- 子どもの笑顔守るまち
- 笑顔があふれる悩まない町

稲生高等学校

- 世代関係なくすごしやすいMACHI
- 治安が良くて生きやすい街
- 笑顔で楽しい町
- 子育てしやすい人権のある町
- 差別のない生きやすい町

石薬師高等学校

- コミュニケーションがとれる町
- 不安がなく笑顔で活気あふれる鈴鹿市

●「笑顔」，「安心して」，「暮らせる」といったワードが多く挙げられていました。

